



訪日外国人消費動向調査(平成24年4-6月期)

【トピックス】

① 震災前後の訪日外客の属性変化

～震災前の前々年同期(平成22年4-6月期)と比較

② 観光目的の個別手配客の特徴と消費実態

～直近1年間の韓国・台湾・中国を対象に

平成24年8月31日

観光庁観光経済担当参事官室

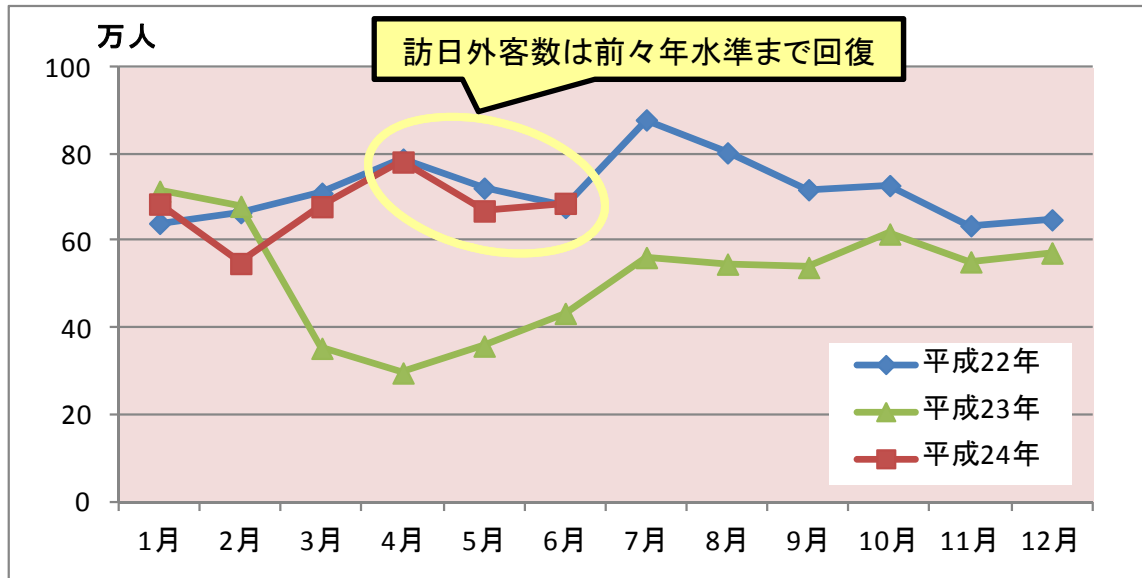
トピックス①

震災前後の訪日外客の属性変化

～震災前の前々年同期(平成22年4-6月期)と比較

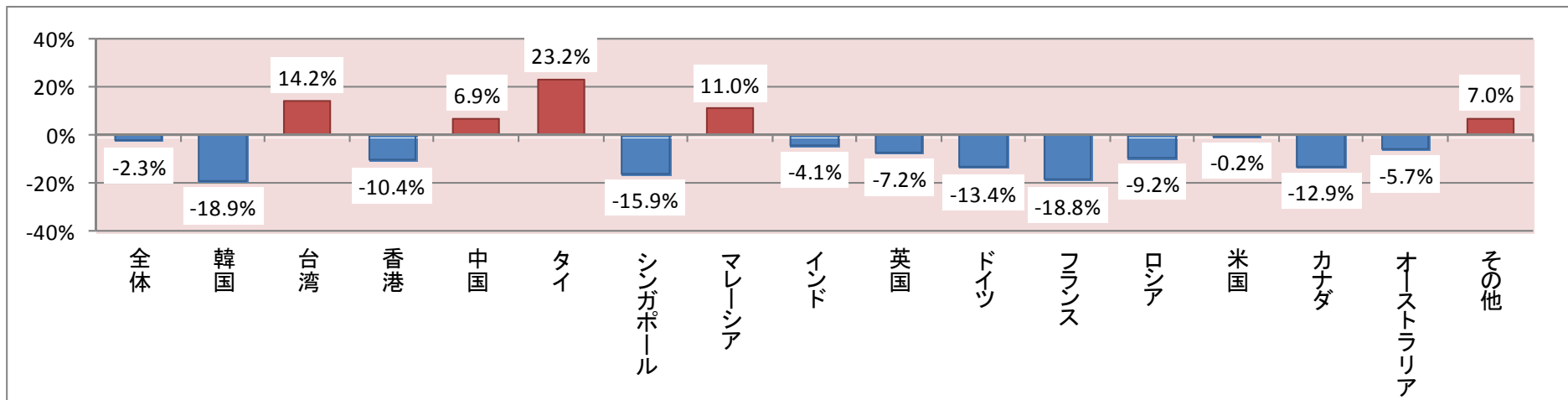
【外客数】総数は前々年並みに回復、国籍別で明暗分かれる

図表1. 訪日外客数(JNTO)の推移



- 平成24年4-6月期の訪日外客数は、概ね前々年(平成22年)並みの水準に回復した。
- 訪日外客数の回復状況は国籍によって異なる。台湾、中国、タイ、マレーシアは、前々年の平成22年4-6月期に比べて訪日外客数が増加した。一方、韓国、香港、シンガポール、インド、英国、ドイツ、フランス、ロシア、米国、カナダ、オーストラリアでは、未だ前々年の水準に回復していない。

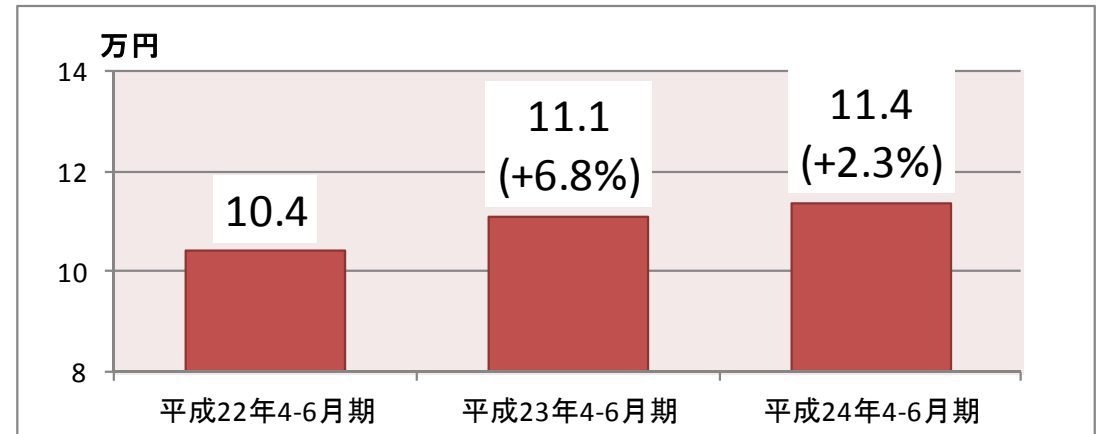
図表2. 平成24年4-6月期における訪日外客数(JNTO)の対前々年同期比



【消費単価】旅行中支出額は上昇、特に中国・英国等で増加

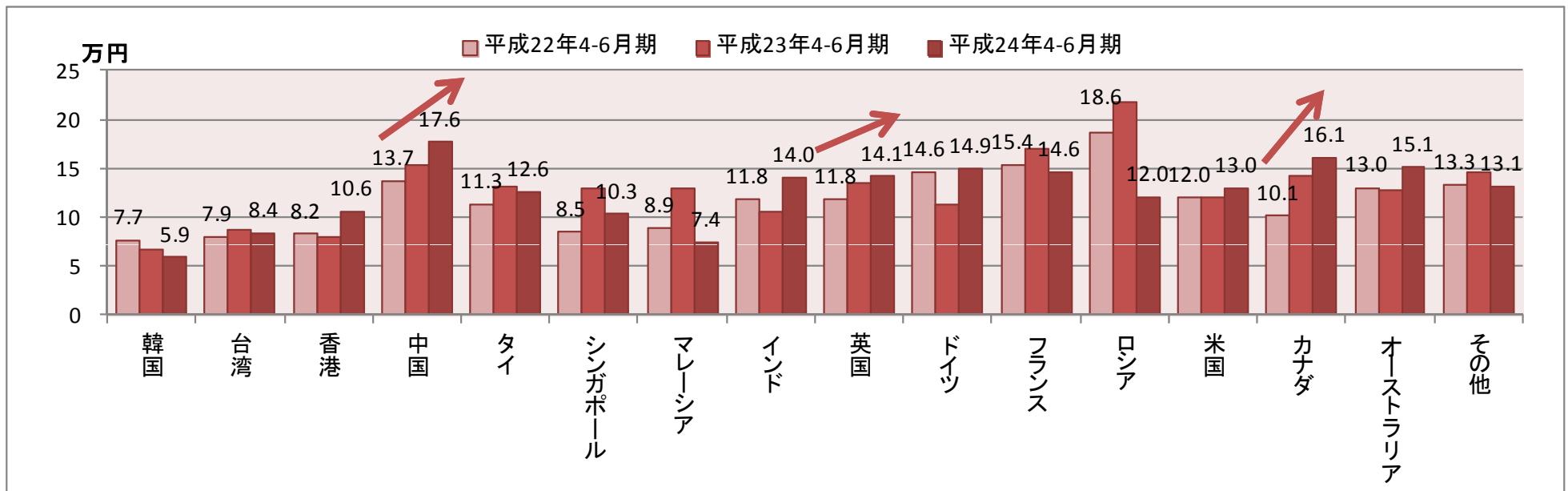
- 訪日外国人の1人当たり旅行中支出額をみると、前々年に比べて増加した。震災直後の平成23年4-6月期には前年同期比6.8%増の11万1千円だったが、その翌年の平成24年4-6月期にはさらに増えて同2.3%増の11万4千円となっている。
- 国籍別でみると、中国・英国・カナダでの同支出額が年々増加傾向にある。いずれの国籍でも前々年に比べて宿泊料金、飲食費、交通費が増えているほか、中国では買物代も増加した。

図表3. 訪日外国人の1人当たり旅行中支出額の推移



注)カッコ内の数値は前年同期比

図表4. 訪日外国人の1人当たり旅行中支出額の推移【国籍別】

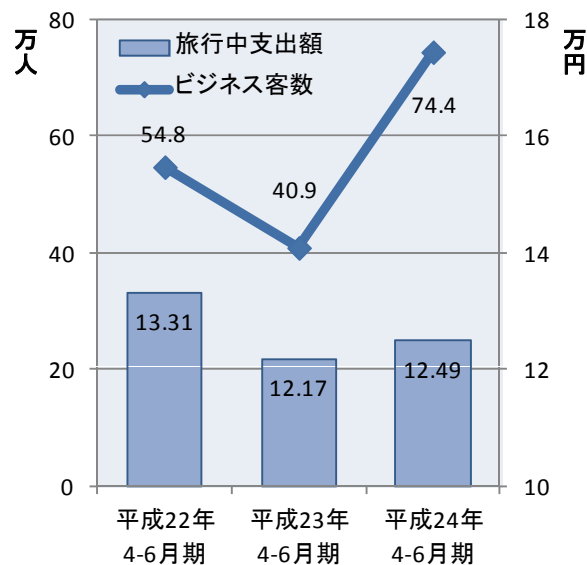


平成24年4-6月期は、東日本大震災前の平成22年4-6月期に比べると…

ビジネス客^{注1}増加

業務目的の訪日客が
前々年の1.4倍に増加

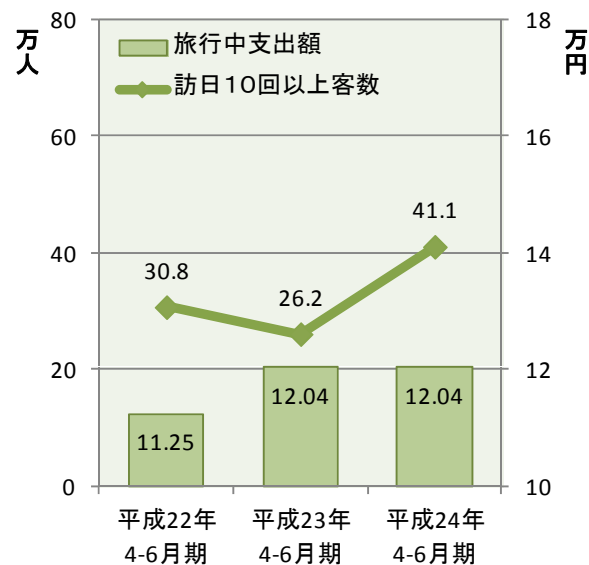
➡ 特に台湾・中国・韓国で増加



リピーター 増加

訪日10回以上の訪日客が
前々年の1.3倍に増加

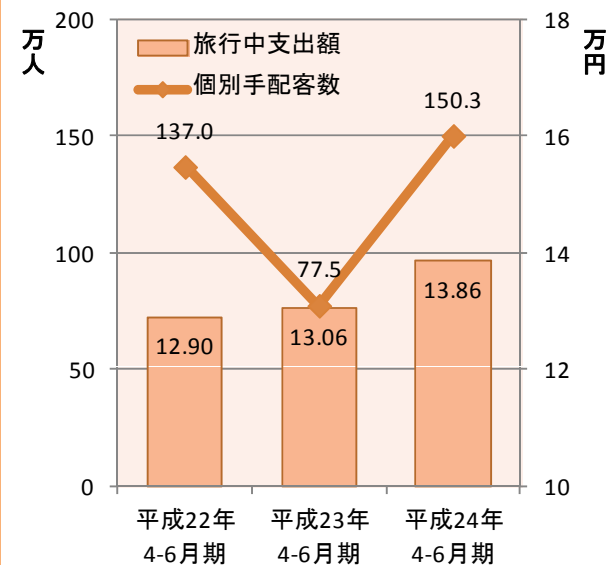
➡ 特に韓国・台湾で増加



個別手配客^{注2}増加

個別手配客が
前々年の1.1倍に増加

➡ 特に中国・台湾で増加



注1)ビジネス客には、「展示会・見本市」「国際会議」「社内会議」「研修」「商談等その他ビジネス」が含まれる。

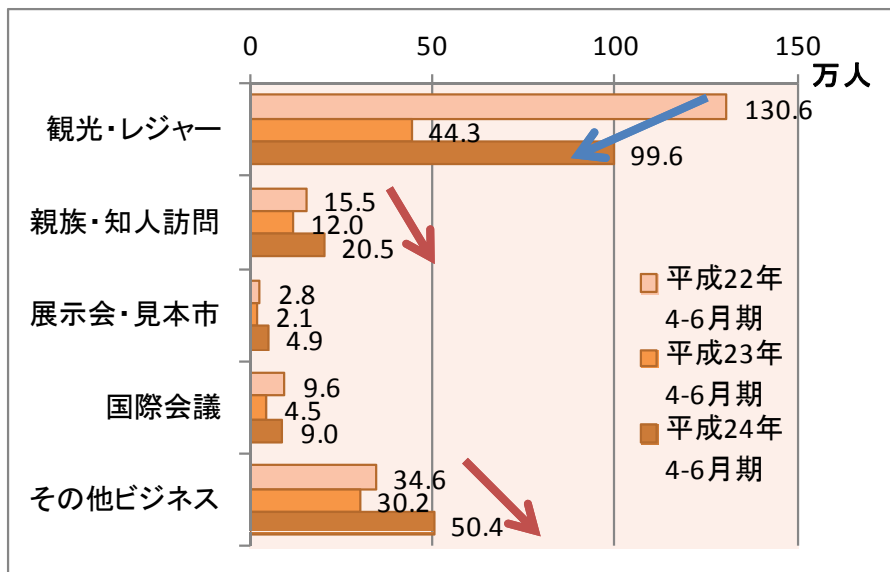
注2)個別手配客とは、パッケージツアーを利用していない人を指す。

【来訪目的】ビジネス客のほか、親族・知人訪問も増加

- 訪日外国人の来訪目的では、「その他ビジネス」や「親族・知人訪問」が増加し、「観光・レジャー」が大きく減少した。ビジネスでは台湾・中国・韓国からの来訪が特に増えており、親族・知人訪問では中国からの来訪が特に増えている。
- 来訪目的の別に消費単価をみると、「観光・レジャー」や「展示会・見本市」では単価が上昇しており、「その他ビジネス」や「親族・知人訪問」では単価が下落した。

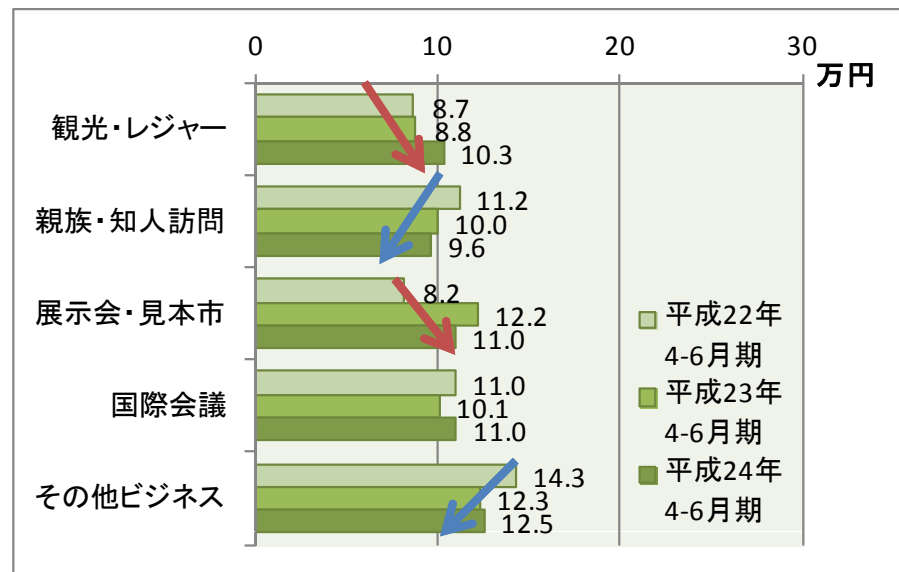
訪日外客数の変化

プラス	● その他ビジネス、親族・知人訪問が増加 【ビジネスは中国・韓国・台湾で増加】
マイナス	● 観光・レジャーが大きく減少 【韓国・中国他、全般的に減少】



消費単価(旅行中支出額)の変化

プラス	● 観光・レジャー、展示会・見本市で増加 【観光では中国・香港で増加】
マイナス	● その他ビジネス、親族・知人訪問で減少 【ビジネスでは韓国・タイで減少】



注1) 客層別の訪日外客数＝「JNTO訪日外客数」×「本調査結果における客層別構成比」（平成24年5-6月のJNTO訪日外客数は推計値を使用）

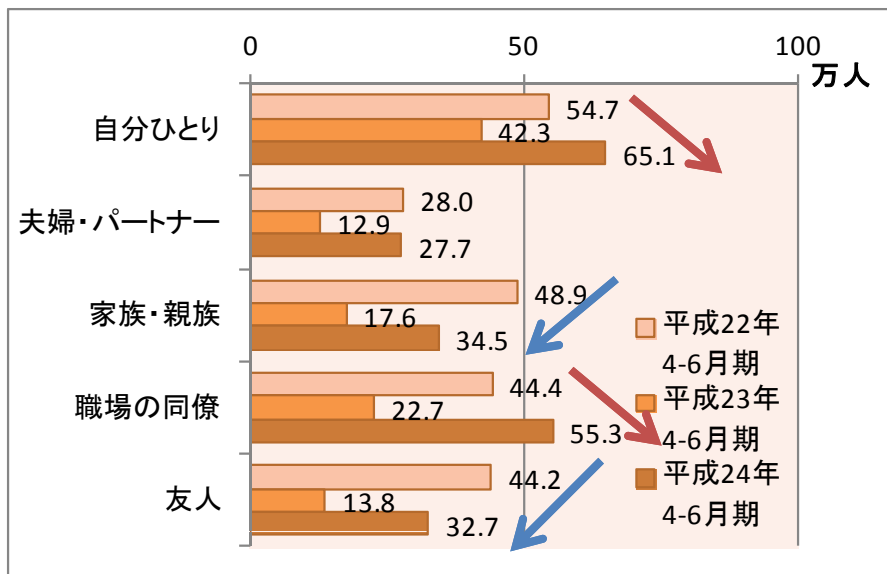
注2) 旅行中支出額には、出発国と日本間の往復運賃やパッケージツアー料金は含まれない。

【同行者】ビジネス客増加の影響で、ひとり・職場同僚が増加

- 同行者をみると、ビジネス旅行や親族・知人訪問の増加が影響して「自分ひとり」や「職場の同僚」が増加。一方、観光・レジャーの減少が影響して「家族・親族」や「友人」が減少した。
- 同行者の別に消費単価をみると、「友人」との旅行で大きく単価が上昇、「自分ひとり」での旅行で単価が下落した。

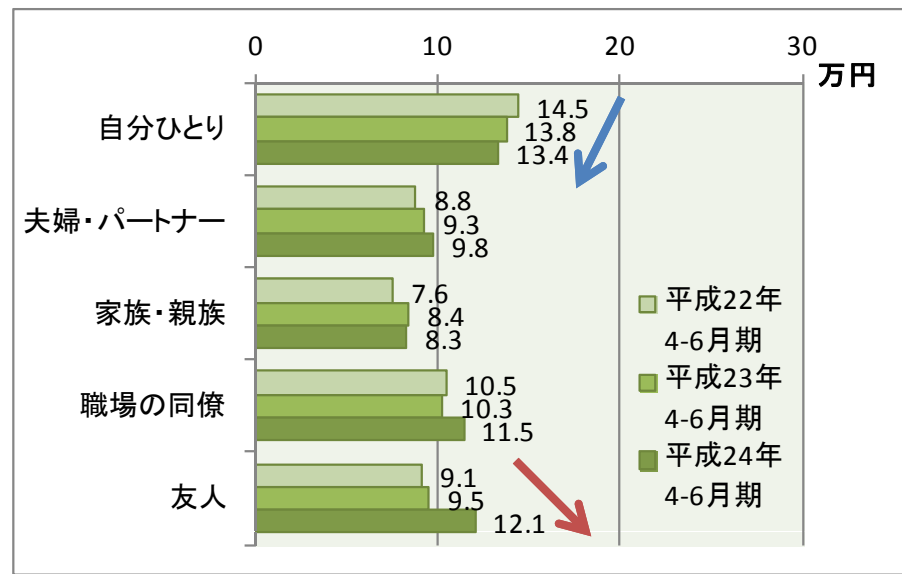
訪日外客数の変化

プラス	● 自分ひとり、職場の同僚が増加 【台湾・中国で増加】
マイナス	● 家族・親族、友人が減少 【韓国・中国で減少】



消費単価(旅行中支出額)の変化

プラス	● 友人旅行の単価が増加 【中国・台湾・香港で増加】
マイナス	● 自分ひとりでの旅行の単価が減少 【韓国・台湾で減少】



注1) 客層別の訪日外客数＝「JNTO訪日外客数」×「本調査結果における客層別構成比」（平成24年5-6月のJNTO訪日外客数は推計値を使用）

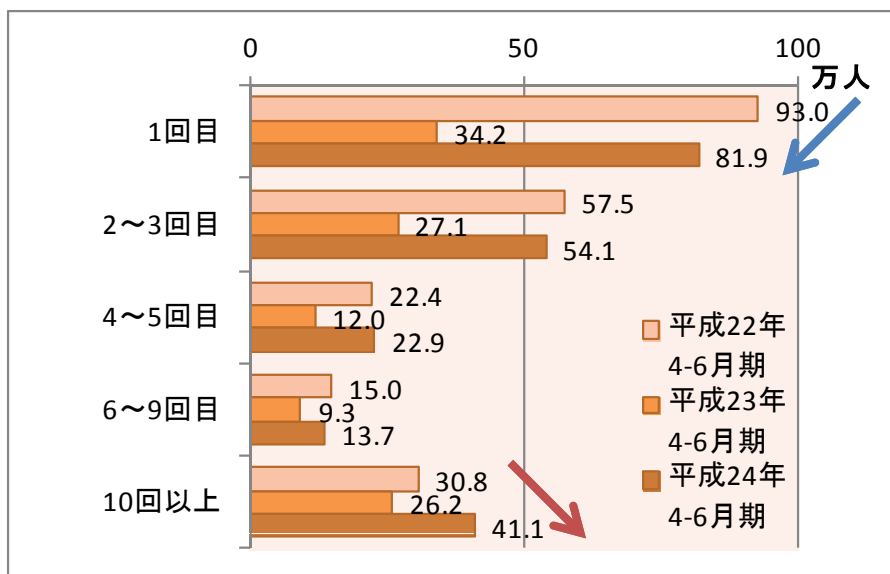
注2) 旅行中支出額には、出発国と日本間の往復運賃やパッケージツアー料金は含まれない。

【訪日回数】訪日回数10回以上のリピーターが増加

- 訪日外国人の訪日回数では、「10回以上」が増加し、「1回目」が減少した。なお、「10回以上」は韓国、台湾で特に増えており、「1回目」は韓国、中国で特に減っている。
- 訪日回数の別に消費単価をみると、「1回目」「2～3回目」で単価が上昇したが、「4～5回目」「6～9回目」では単価が下落した。

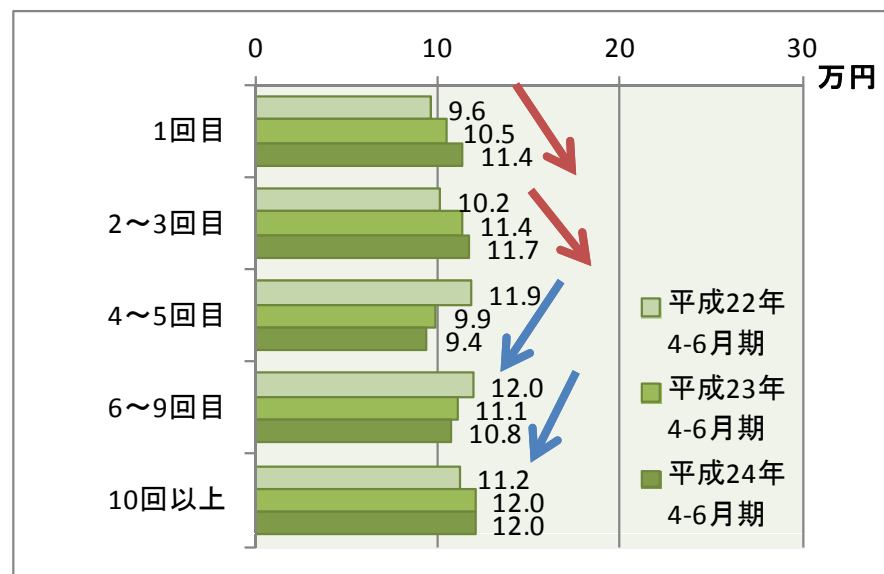
訪日外客数の変化

プラス	● 訪日10回以上のリピーターが増加 【韓国・台湾で増加】
マイナス	● 訪日1回目が減少 【韓国・中国で減少】



消費単価(旅行中支出額)の変化

プラス	● 1～3回目で単価増加 【中国で増加】
マイナス	● 4～9回目で単価減少 【韓国・台湾で減少】



注1) 客層別の訪日外客数＝「JNTO訪日外客数」×「本調査結果における客層別構成比」（平成24年5-6月のJNTO訪日外客数は推計値を使用）

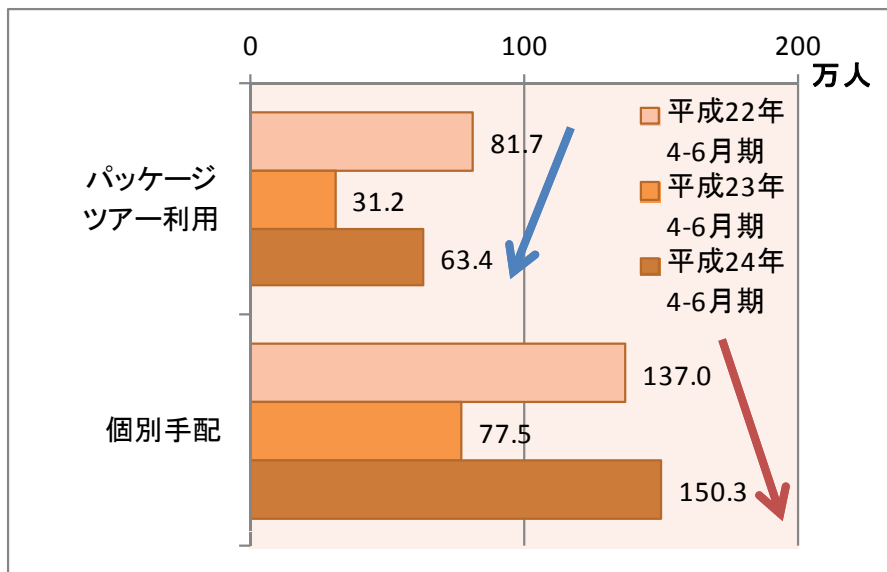
注2) 旅行中支出額には、出発国と日本間の往復運賃やパッケージツアー料金は含まれない。

【手配方法】ツアー客が減少し、個別手配客が増加

- 訪日旅行の手配方法では、パッケージツアー利用客が減少し、個別手配客が増加した。国籍別で見ると、中国や台湾での個別手配客が特に増えている。
- 手配方法の別に消費単価をみると、パッケージツアー利用客の単価では大きな動きはないが、個別手配客の単価は年々増加していることがわかる。

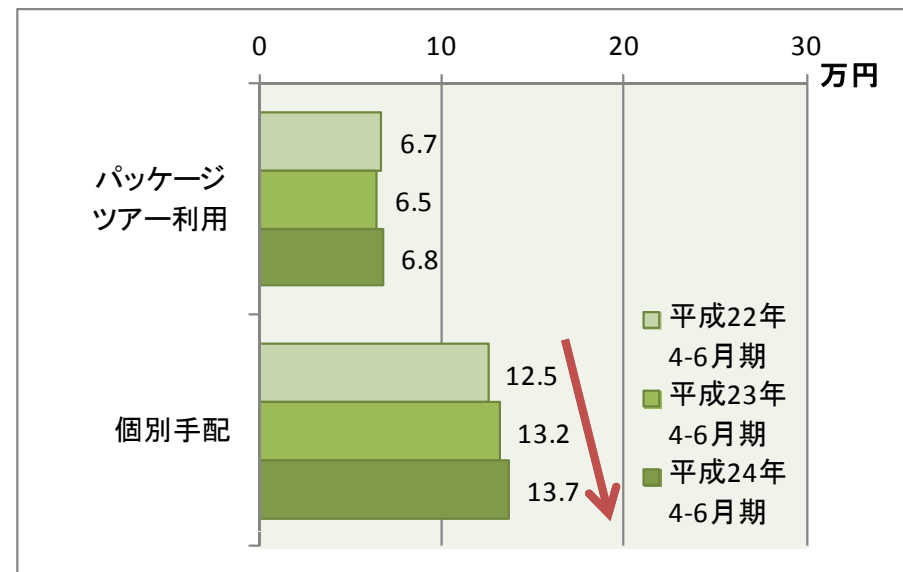
訪日外客数の変化

プラス	● 個別手配客が増加 【中国・台湾で増加】
マイナス	● パッケージツアー利用客が減少 【韓国・中国で減少】



消費単価(旅行中支出額)の変化

プラス	● 個別手配客の単価が増加 【中国で増加】
マイナス	



注1) 客層別の訪日外客数＝「JNTO訪日外客数」×「本調査結果における客層別構成比」(平成24年5-6月のJNTO訪日外客数は推計値を使用)

注2) 旅行中支出額には、出発国と日本間の往復運賃やパッケージツアー料金は含まれない。

トピックス②

観光目的の個別手配客の特徴と消費実態

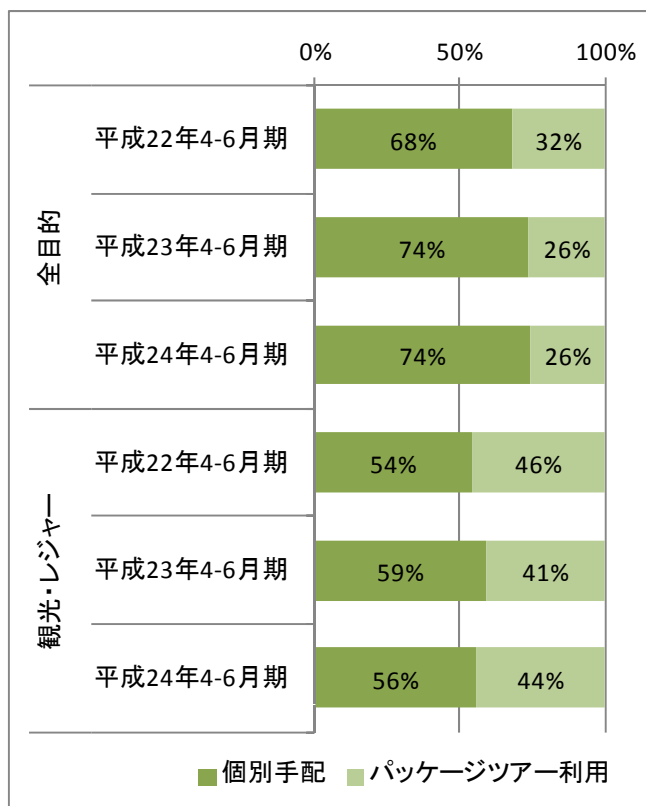
～直近1年間の韓国・台湾・中国を対象に

【個別手配客】前々年に比べ個別手配率が上昇

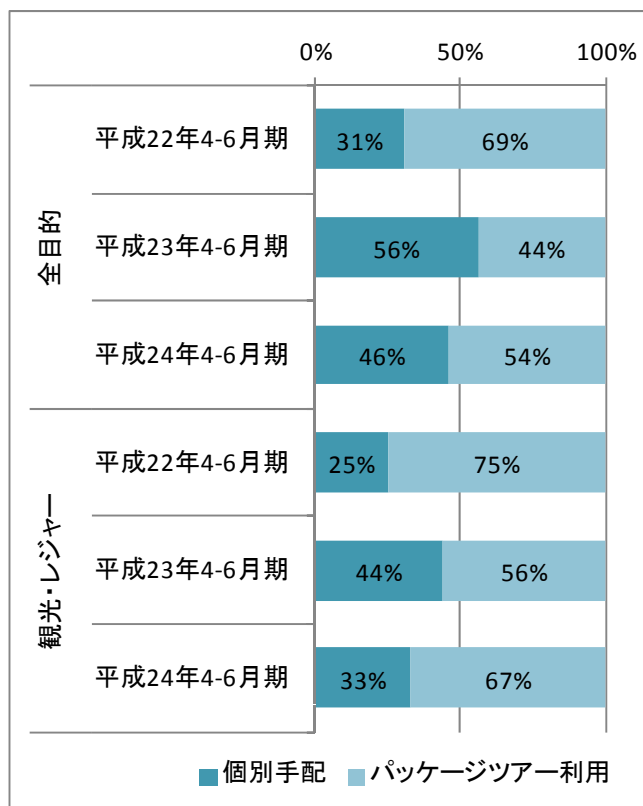
- 震災直後の平成23年4-6月期は訪日外客数が大幅に減少。特に、韓国・台湾・中国ではパッケージツアー（個人旅行者向けフリープランを含む）を利用した訪日客が大きく減少し、個別手配客の割合が増加した。
- 震災後1年が経過して訪日外客数は前々年水準に回復したが、個別手配客の割合は前々年に比べ上昇している。同様の傾向は観光客においても見受けられる。

図表1. 個別手配客およびパッケージツアー利用客の割合【主要国籍別】

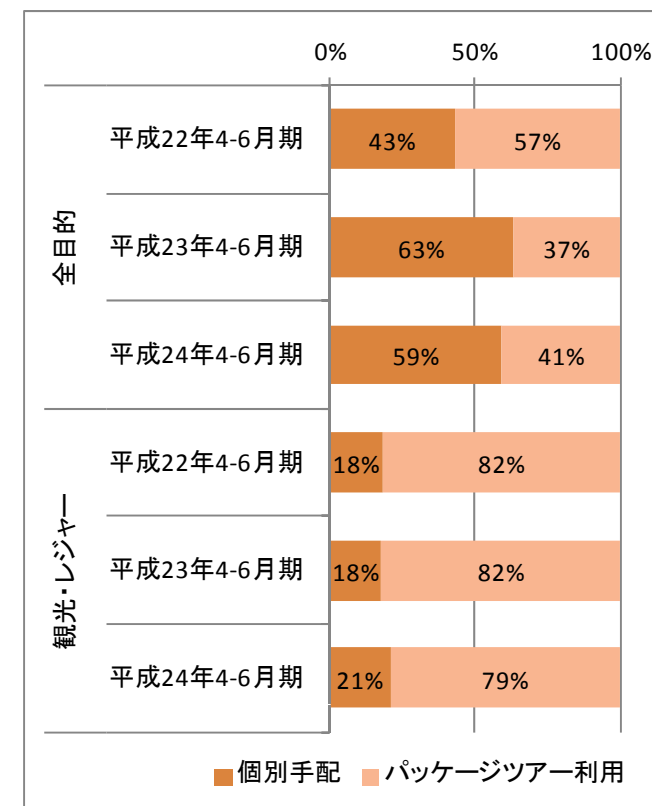
a. 韓国



b. 台湾



c. 中国



パッケージツアーを利用しない「個別手配」観光客の特徴

【ポイント】

● **客層** 20～30代・訪日リピーター

● **旅程** 東京・大阪に集中

● **買物** 服・かばん・靴の支出額高い

● **情報源** 個人ブログ・日本在住の知人

● **現地情報** 交通手段情報のニーズ高い

● **再訪意向** ツアー客に比べて高い

個別手配の観光客の特徴【直近1年間（平成23年7-9月期～平成24年4-6月期）】

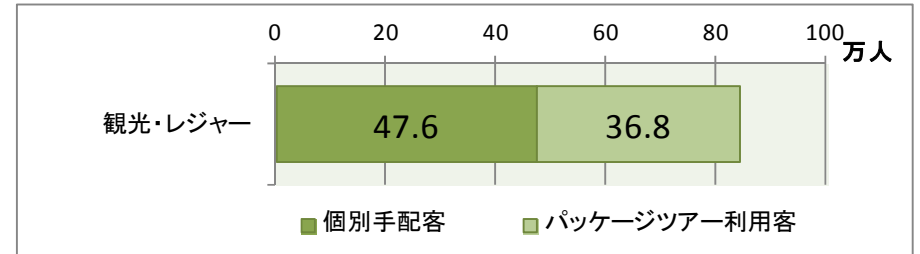
	個別手配 比率	個人手配比率 の高い客層	旅程	旅行支出 (運賃・宿泊は平成24年4-6月期)	買物	旅行情報源
韓国	56%	・男女20～30代 ・訪日2回目以上 ・ひとり、友人	東京・ 大阪 に集中	・往復運賃 42万ウォン ・宿泊単価 6,900円 ・旅行中支出額 7万円	・平均2万円 ・ツアー客に比べ 買物代が低い ・服・かばん・靴	・旅行ガイドブック ・個人のブログ ・日本在住の知人
台湾	37%	・男女20～30代 ・訪日10回目以上 ・ひとり、友人	東京に 集中	・往復運賃 1万5千台湾元 ・宿泊単価 5,800円 ・旅行中支出額 11万円	・平均5万円 ・ツアー客に比べ 買物代が高い ・服・かばん・靴	・JNTOホームページ ・個人のブログ ・日本在住の知人
中国	23%	・男性20～40代 ・女性20～30代 ・訪日2回目以上 ・ひとり、友人	東京・ 大阪 に集中	・往復運賃 5,100元 ・宿泊単価 6,900円 ・旅行中支出額 22万円	・平均13万円 ・ツアー客に比べ 買物代が高い ・服・かばん・靴	・日本在住の知人

※直近1年間（平成23年7-9月期～平成24年4-6月期）のサンプルのうち、観光・レジャー目的を抽出して分析。訪日外客数による四半期別ウェイトバック処理は行っていない。

【韓国】[客層] 半数以上が個別手配、リピーター・ひとり客に多い

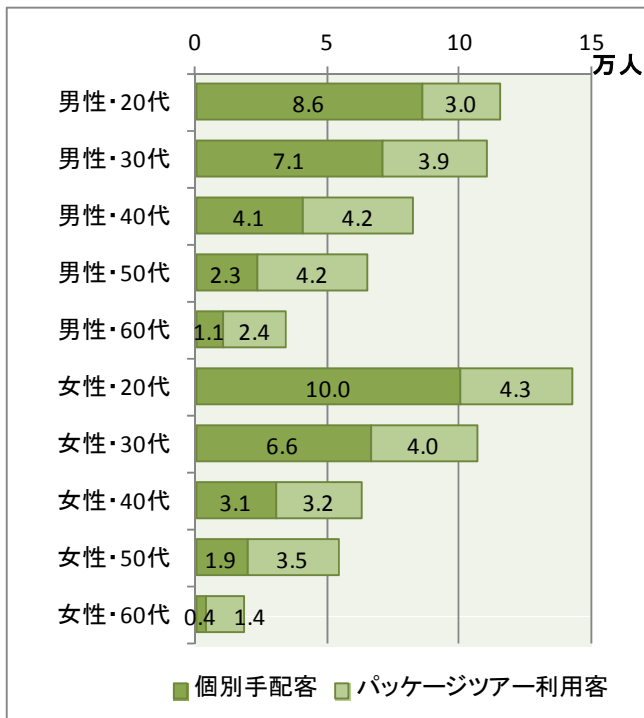
- 韓国からの観光客では、個別手配が56%を占める。その人数は年間47.6万人と推計される。
- 性・年代別では、男女とも20～30代で個別手配客が半数を超える。また、訪日回数別では2回目以上で個別手配が半数を超える。同行者別では「自分ひとり」の大半が個別手配客であり、人数も多い。

図表2-1. 手配方法別にみる観光客数【韓国】

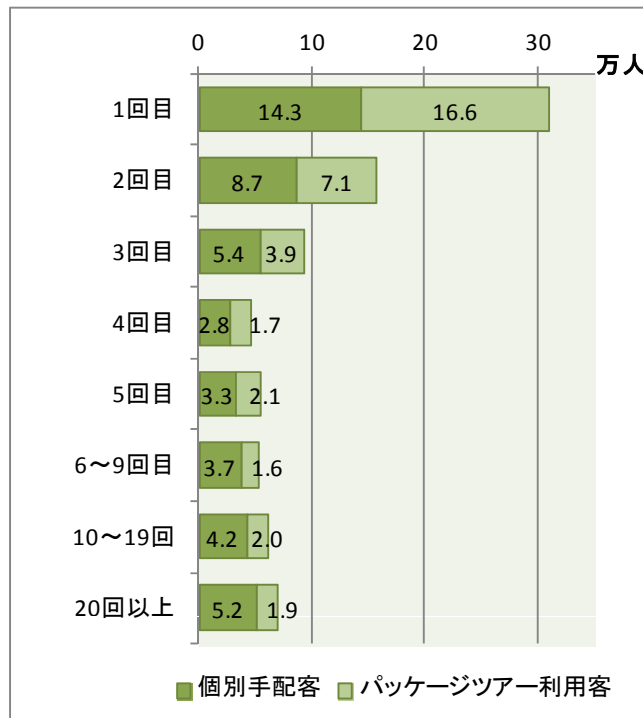


図表2-2. 客層別にみる個別手配客およびパッケージツアー利用客数【韓国】

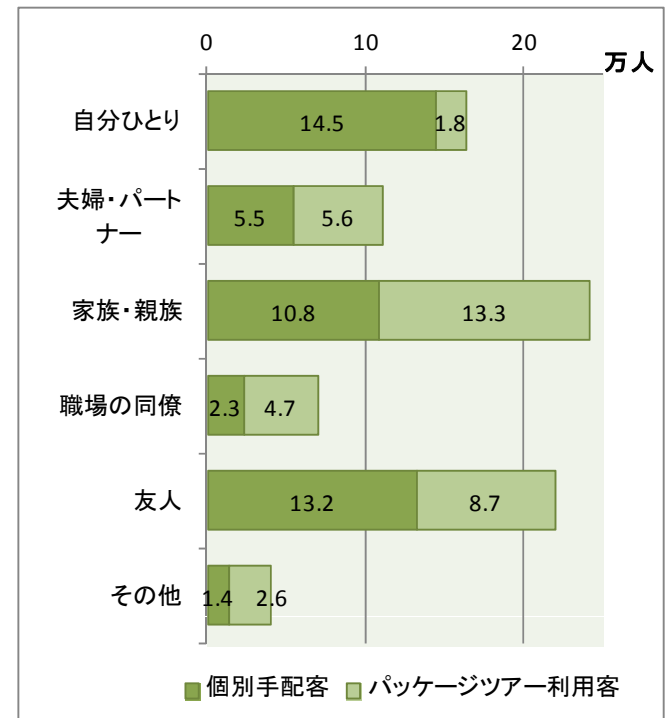
a. 性・年代



b. 訪日回数



c. 同行者



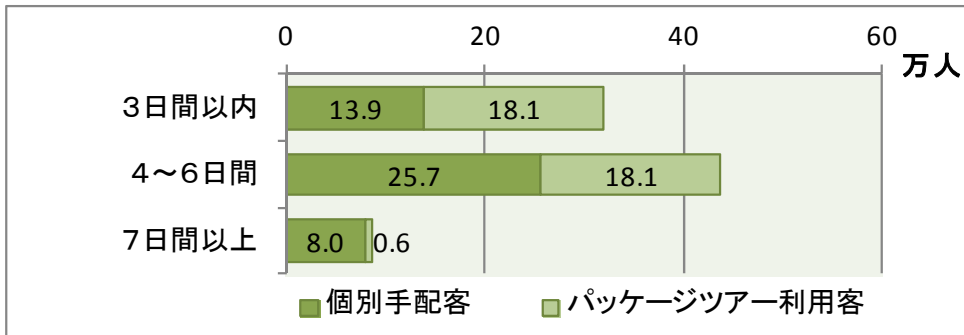
注1) 客層別の訪日外客数 = 「JNTO訪日外客数」×「本調査結果における客層別構成比」 (平成24年5-6月のJNTO訪日外客数は推計値を使用)

【韓国】[旅程] ツアー客は九州、個別手配客は東京・大阪

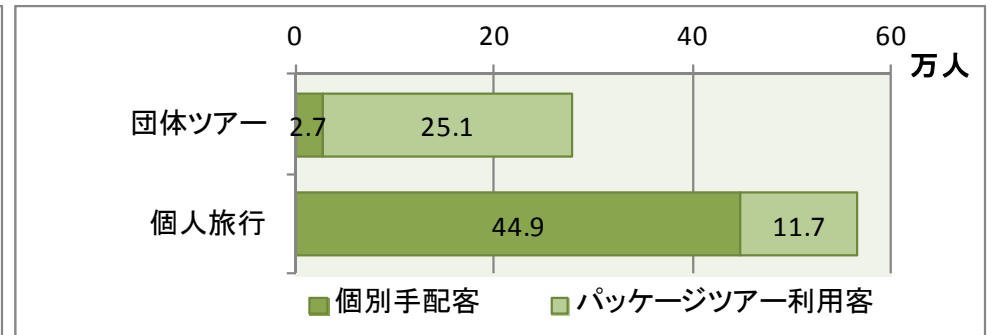
- ツアー客は「3日間以内」「4～6日間」に多く、「7日間以上」では個別手配客が大半を占める。
- ツアー客の訪問地は九州北部や北海道が多いが、個別手配客では東京・大阪に集中する。福岡・京都も多い。

図表2-3. 旅程別にみる個別手配客およびパッケージツアー利用客数【韓国】

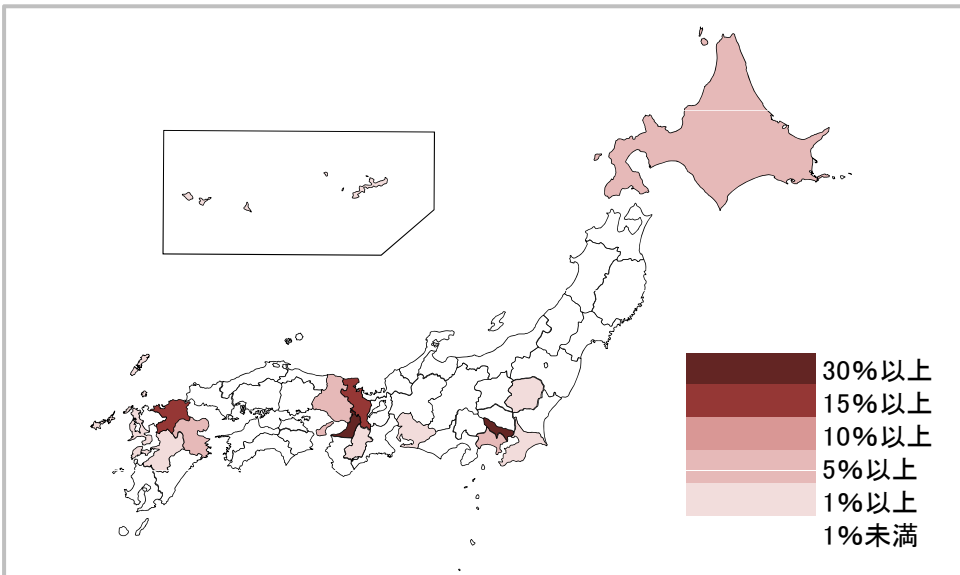
a. 滞在日数



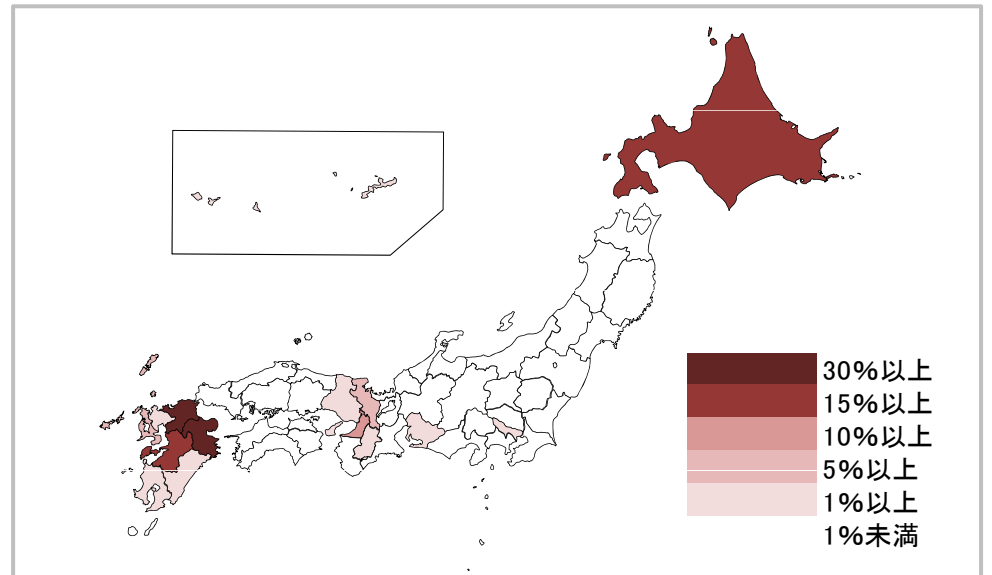
b. 旅行形態



c. 個別手配客の都道府県別訪問率



d. パッケージツアー利用客の都道府県別訪問率

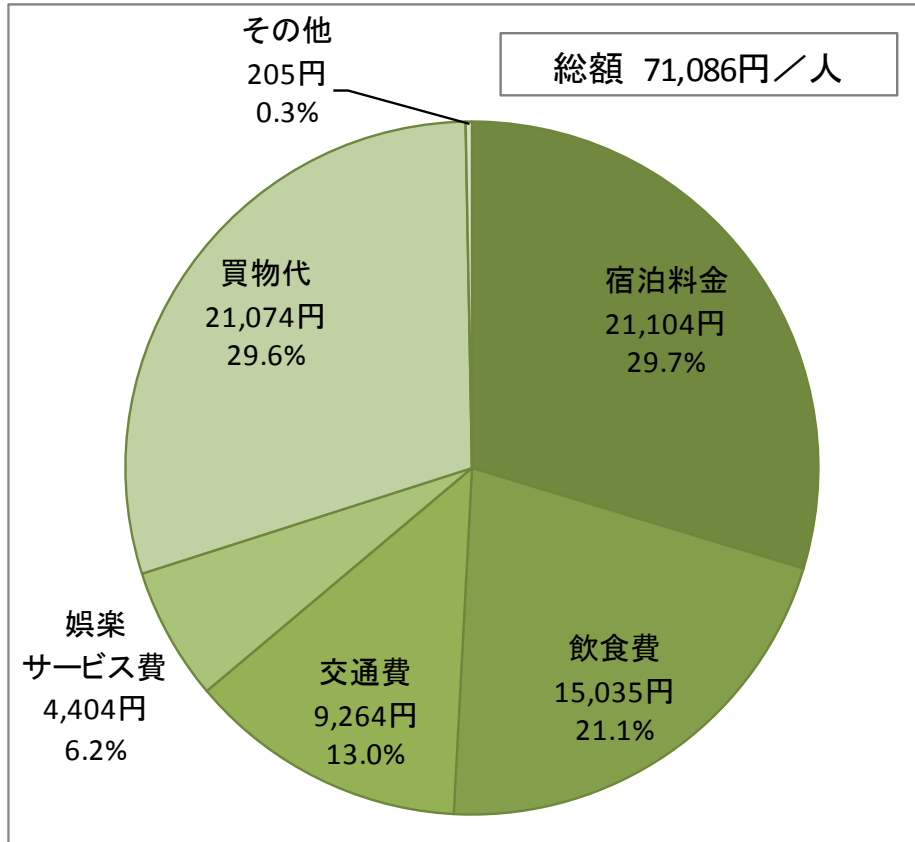


注) 客層別の訪日外客数 = 「JNTO訪日外客数」×「本調査結果における客層別構成比」 (平成24年5-6月のJNTO訪日外客数は推計値を使用)

【韓国】[旅行支出] 宿泊・飲食で半数占める、往復運賃下落

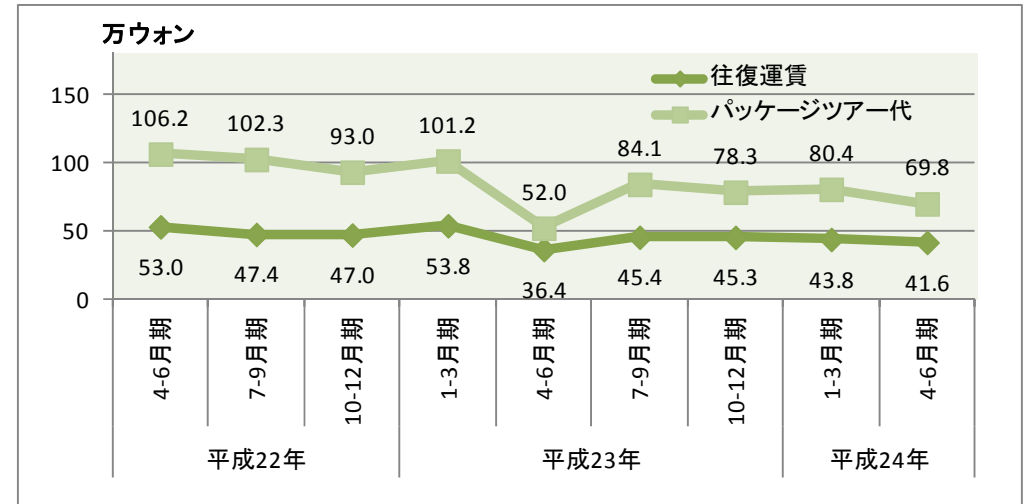
- 個別手配観光客の旅行中支出額は1人当たり平均およそ7万1千円である。宿泊・飲食で半数を占める。
- 平成24年4-6月期の個別手配観光客の往復運賃は1人当たり平均およそ41.6万ウォン。価格の低いLCCや船利用の増加で、平成24年1-3月期以降減少傾向にある。

図表2-4. 個別手配観光客の1人当たり旅行中支出額【韓国】

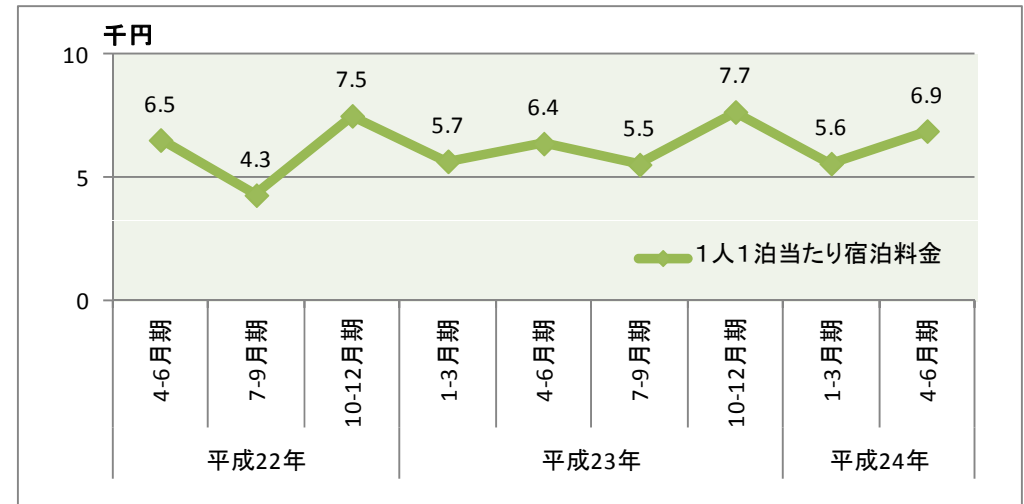


注1) 旅行中支出額の交通費には往復運賃は含まれない。

図表2-5. 観光客の1人当たり往復運賃およびパッケージツアー代【韓国】



図表2-6. 観光客の1人1泊当たり宿泊料金【韓国】

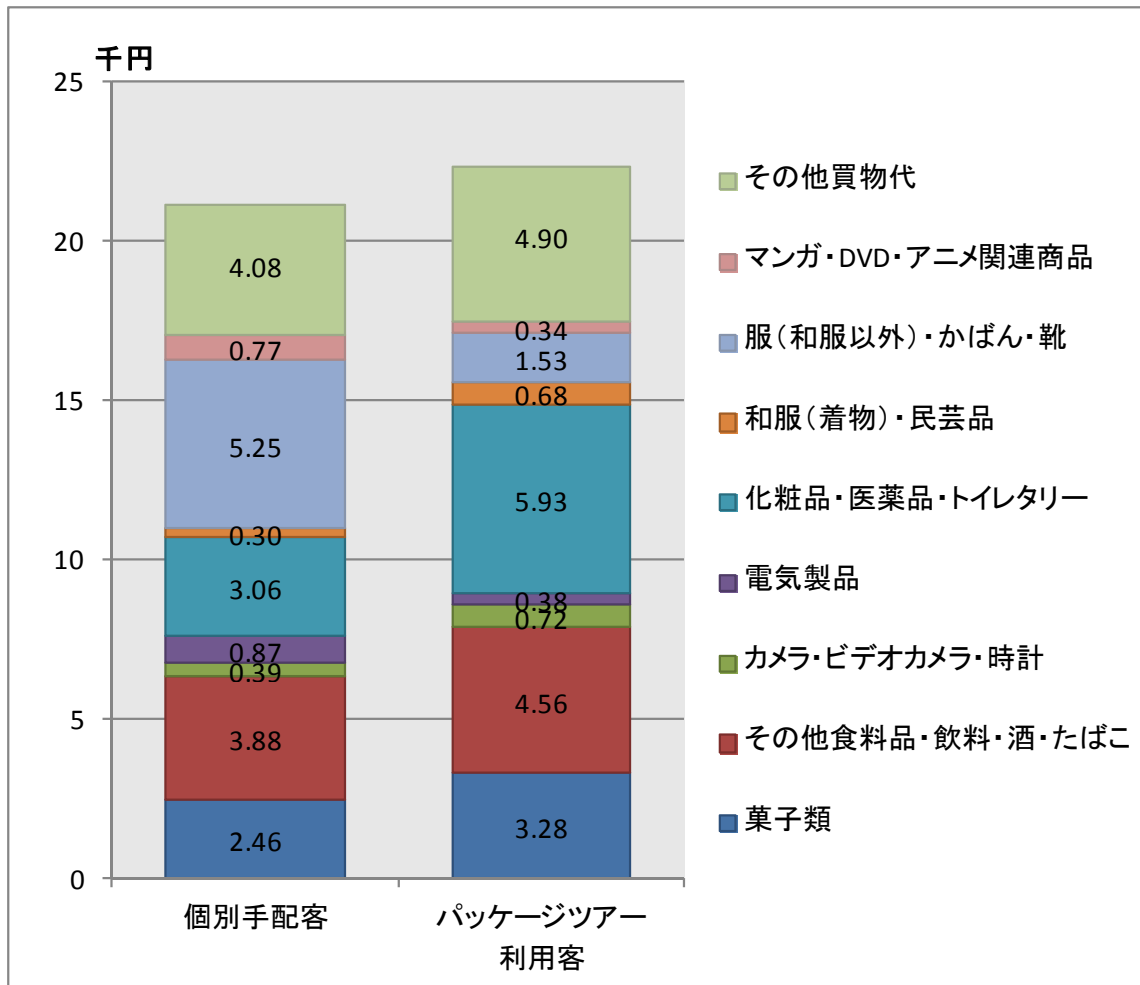


注2) 1人1泊当たり宿泊料金は、個別手配かつ宿泊料金支払いのある人を対象とした平均値。14

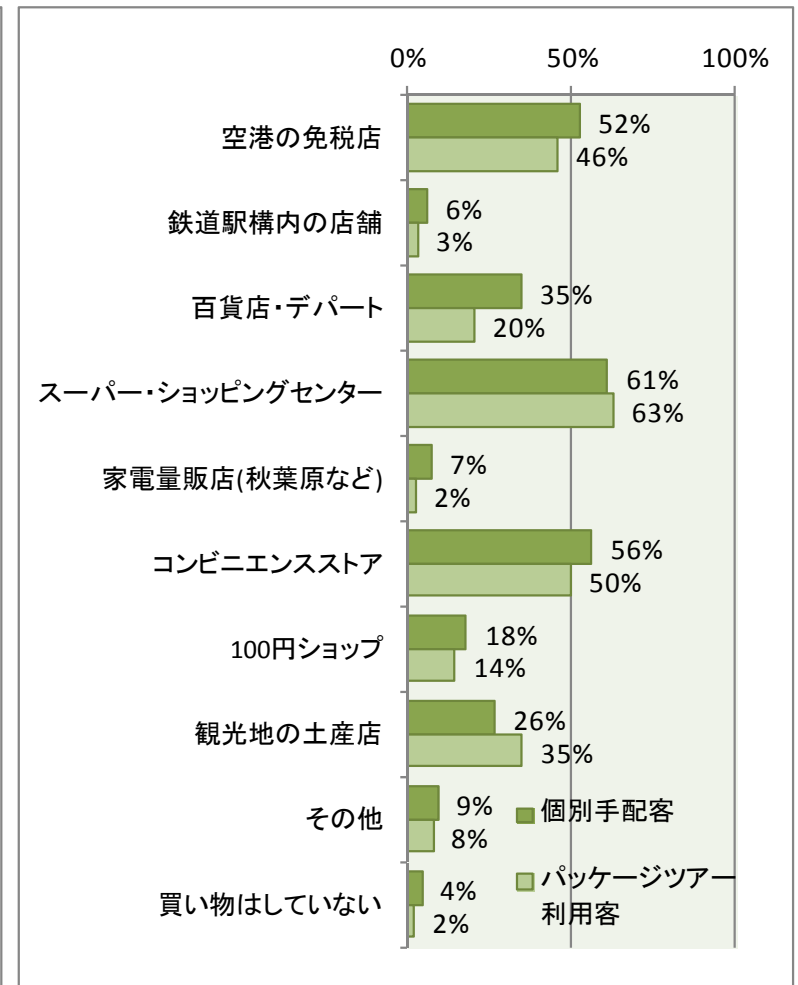
【韓国】[買物] ツアー客より総額少ないが、服・かばん等は高い

- ツアー客に比べ個別手配客の買物代は少ない。費目別では化粧品類への支出が少なく、服・かばん・靴への支出が多い。
- 買物場所では、ツアー客に比べて個別手配客の百貨店・デパートの利用率が高い。

図表2-7. 手配方法別にみる観光客1人当たり買物支出
【韓国】



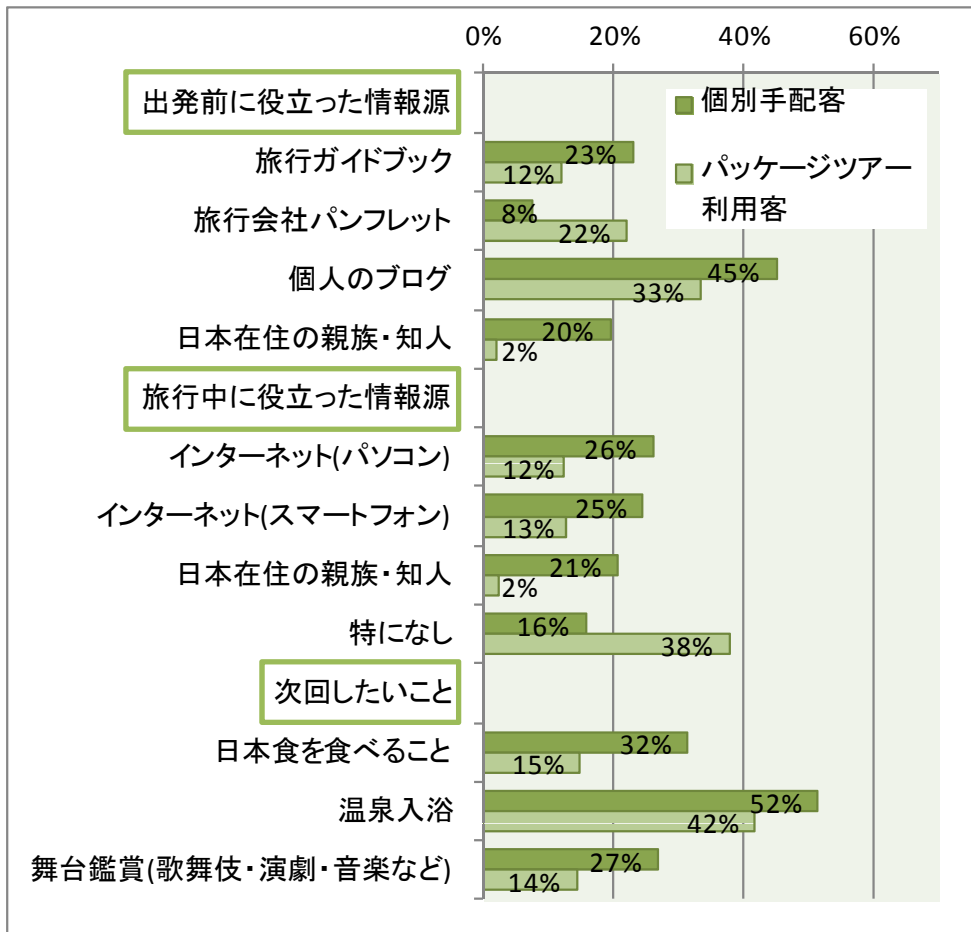
図表2-8. 手配方法別にみる観光客の買物場所(複数回答)【韓国】



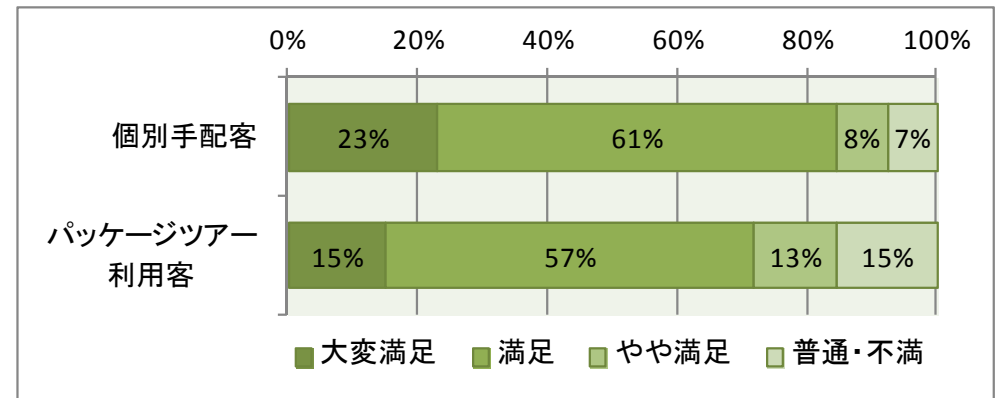
【韓国】[情報源・満足度] 個別手配客の方が再訪意向高い

- 個別手配客では「旅行ガイドブック」「個人のブログ」「日本在住の親族・知人」から情報を得ている人がツアー客に比べ多い。
- 次回の訪日の際にしたいこととして、「日本食を食べること」「温泉入浴」「舞台鑑賞」を挙げる人が個人手配客には多い。
- 訪日旅行の満足度や日本への再訪意向は、ツアー客に比べて個人手配客の方が高い。

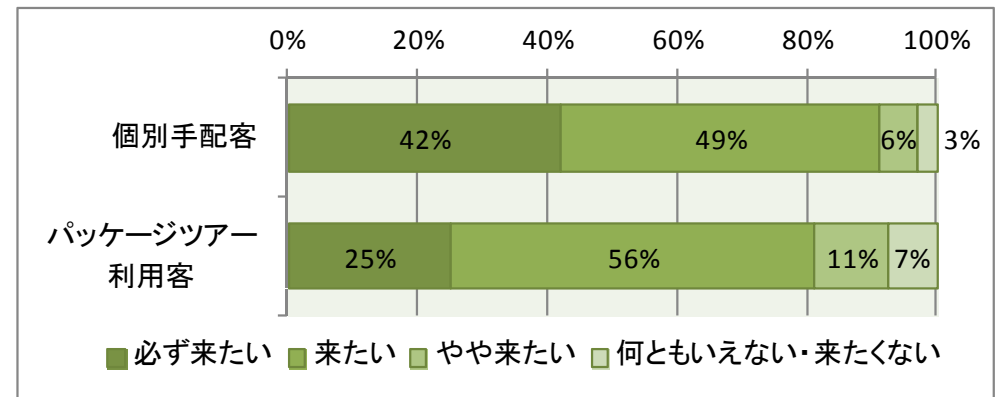
図表2-9. 手配方法別にみる観光客の情報源やニーズ 【韓国】



図表2-10. 手配方法別にみる観光客の訪日旅行満足度【韓国】



図表2-11. 手配方法別にみる観光客の日本への再訪意向【韓国】

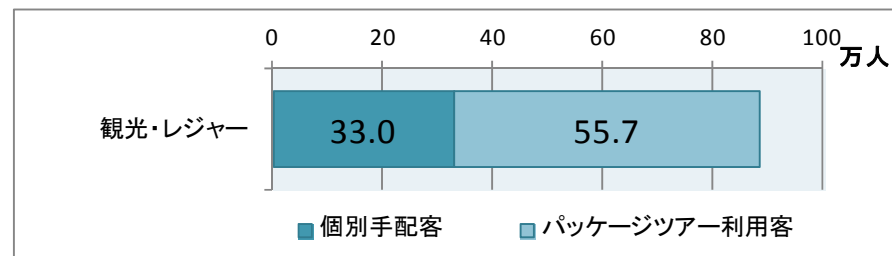


注) 図表2-9では個別手配客とパッケージツアー利用者で有意差のあった項目を表示している。

【台湾】[客層] 個別手配は20～30代、訪日10回以上で増える

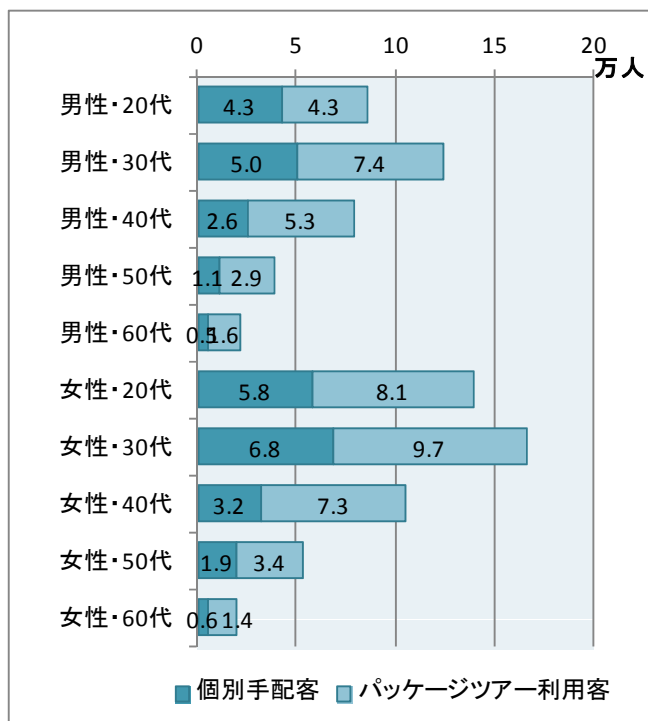
- 台湾からの観光客では、個別手配が37%を占める。その人数は年間33.0万人と推計される。
- 性・年代別では、どの層でもツアー客が多いが、その中でも個別手配客の人数が多いのは男女20～30代である。訪日回数別では10回目以上で個別手配が半数を超える。同行者別では「自分ひとり」で個別手配客の割合が高いが、人数で見ると「家族・親族」や「友人」の個別手配客も多い。

図表3-1. 手配方法別にみる観光客数【台湾】

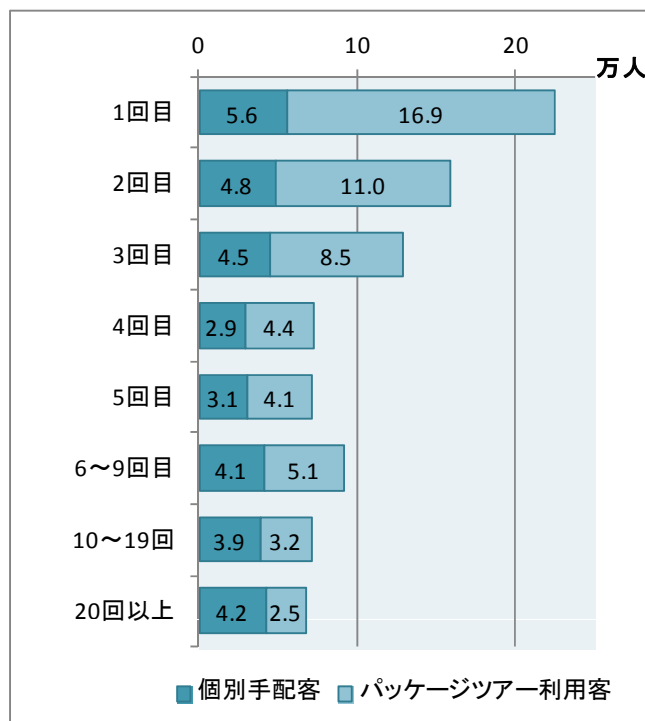


図表3-2. 客層別にみる個別手配客およびパッケージツアー利用客数【台湾】

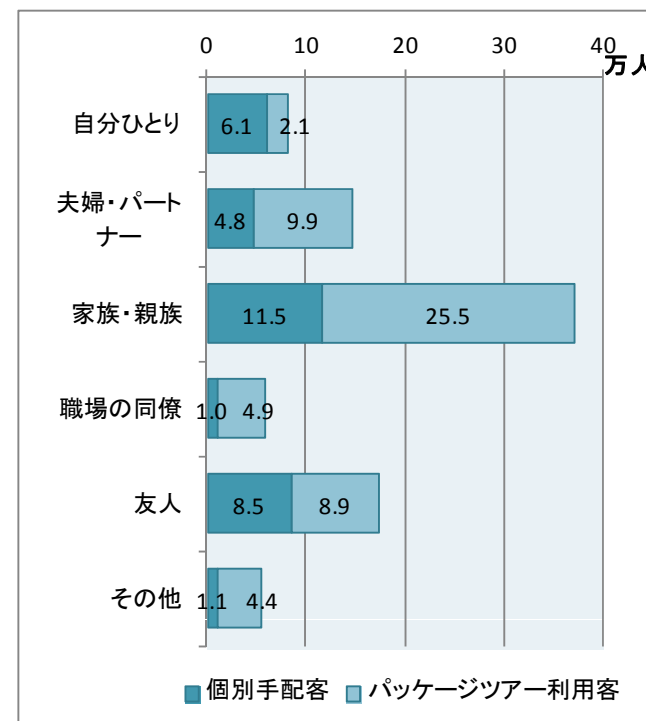
a. 性・年代



b. 訪日回数



c. 同行者



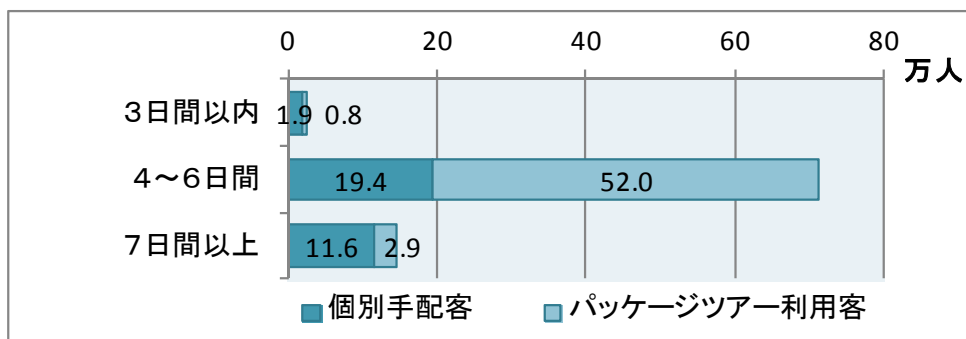
注1) 客層別の訪日外客数＝「JNTO訪日外客数」×「本調査結果における客層別構成比」（平成24年5-6月のJNTO訪日外客数は推計値を使用）

【台湾】[旅程] 個別手配客は東京に集中、大阪・京都も多い

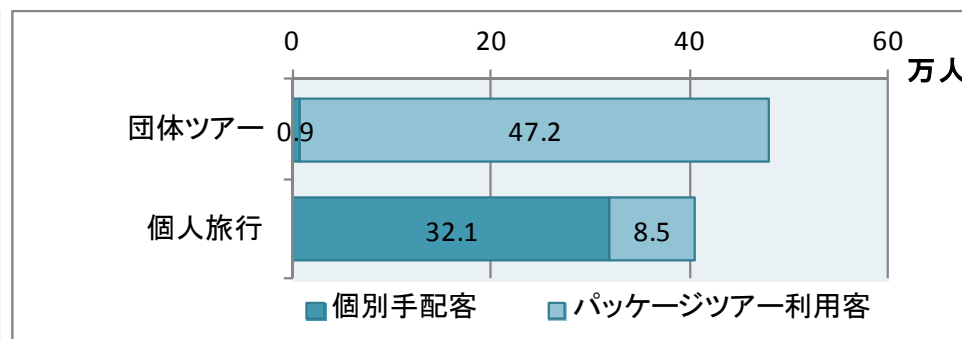
- ツアー客は「4～6日間」が大半を占め、「3日間以内」や「7日間以上」では個別手配客が多い。
- ツアー客の訪問地は北海道や中部が多い点が台湾の特徴だが、個別手配客は東京に集中、大阪・京都も多い。

図表3-3. 旅程別にみる個別手配客およびパッケージツアー利用客数【台湾】

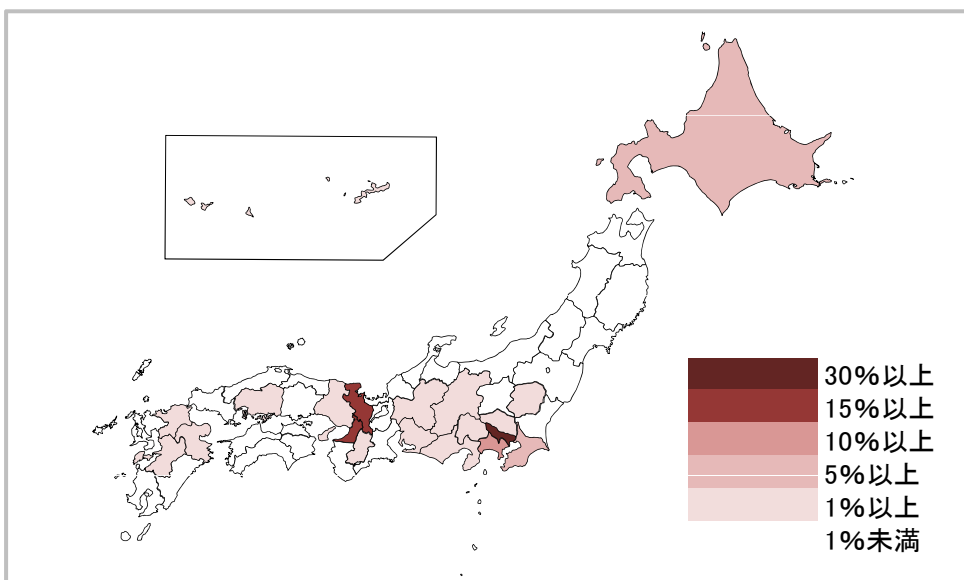
a. 滞在日数



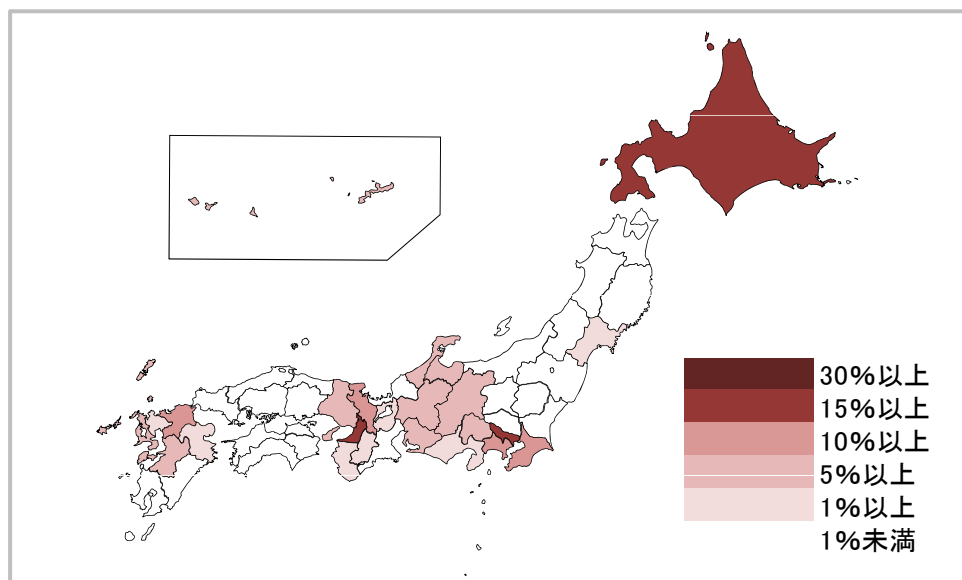
b. 旅行形態



c. 個別手配客の都道府県別訪問率



d. パッケージツアー利用客の都道府県別訪問率

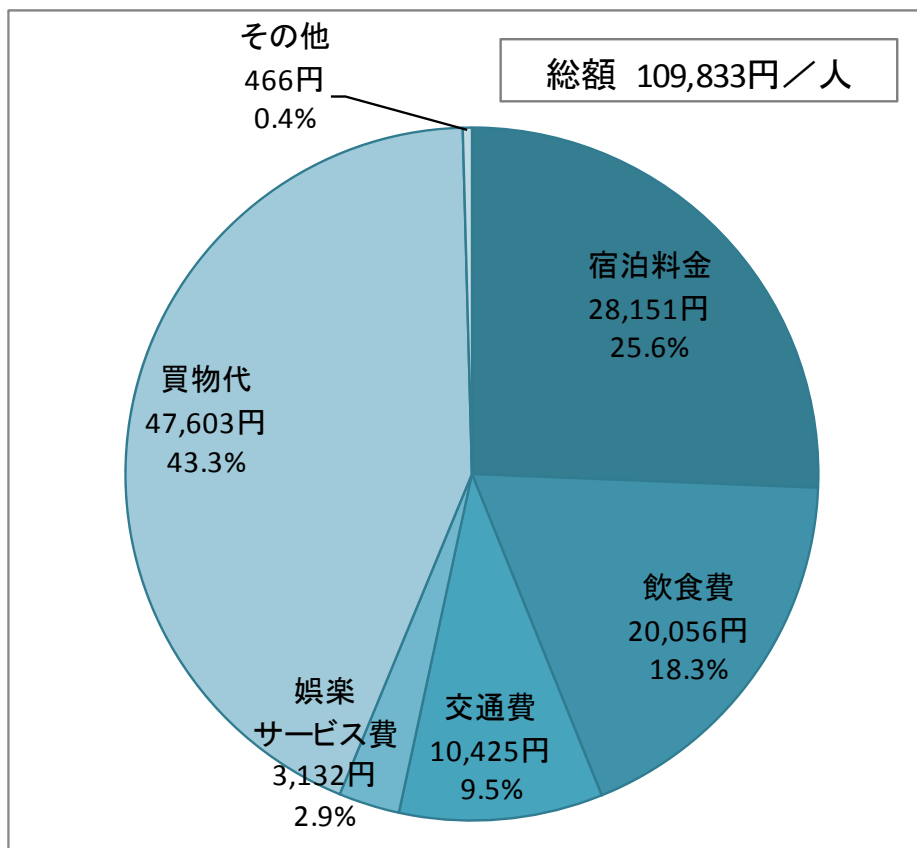


注) 客層別の訪日外客数 = 「JNTO訪日外客数」×「本調査結果における客層別構成比」 (平成24年5-6月のJNTO訪日外客数は推計値を使用)

【台湾】[旅行支出] 買物代が4割強、往復運賃は前々年より低い

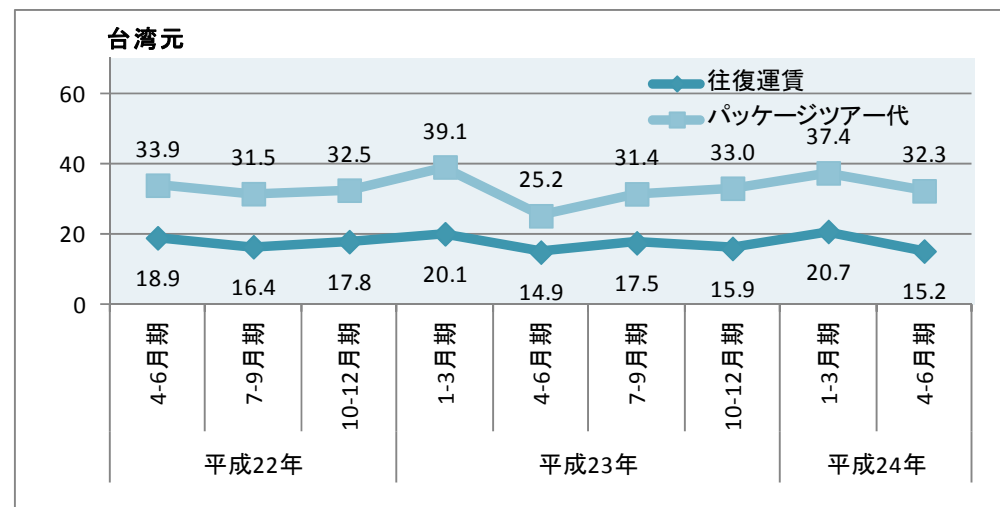
- 個別手配観光客の旅行中支出額は1人当たり平均およそ11万円である。買物代の割合が韓国に比べ高い。
- 平成24年4-6月期における個別手配観光客の往復運賃は1人当たり平均およそ15,200台湾元であり、前々年に比べると低い。

図表3-4. 個別手配観光客の1人当たり旅行中支出額【台湾】

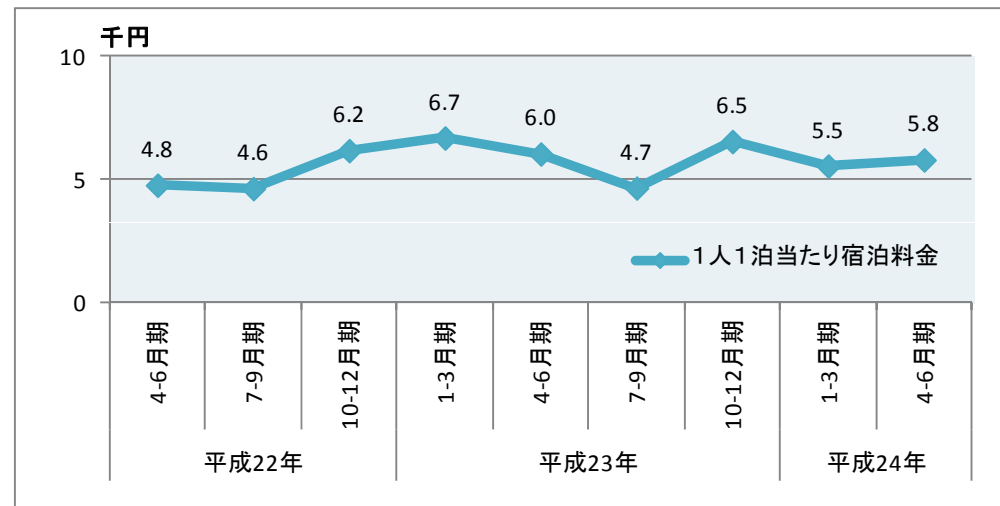


注1) 旅行中支出額の交通費には往復運賃は含まれない。

図表3-5. 観光客の1人当たり往復運賃およびパッケージツアー代【台湾】



図表3-6. 観光客の1人1泊当たり宿泊料金【台湾】

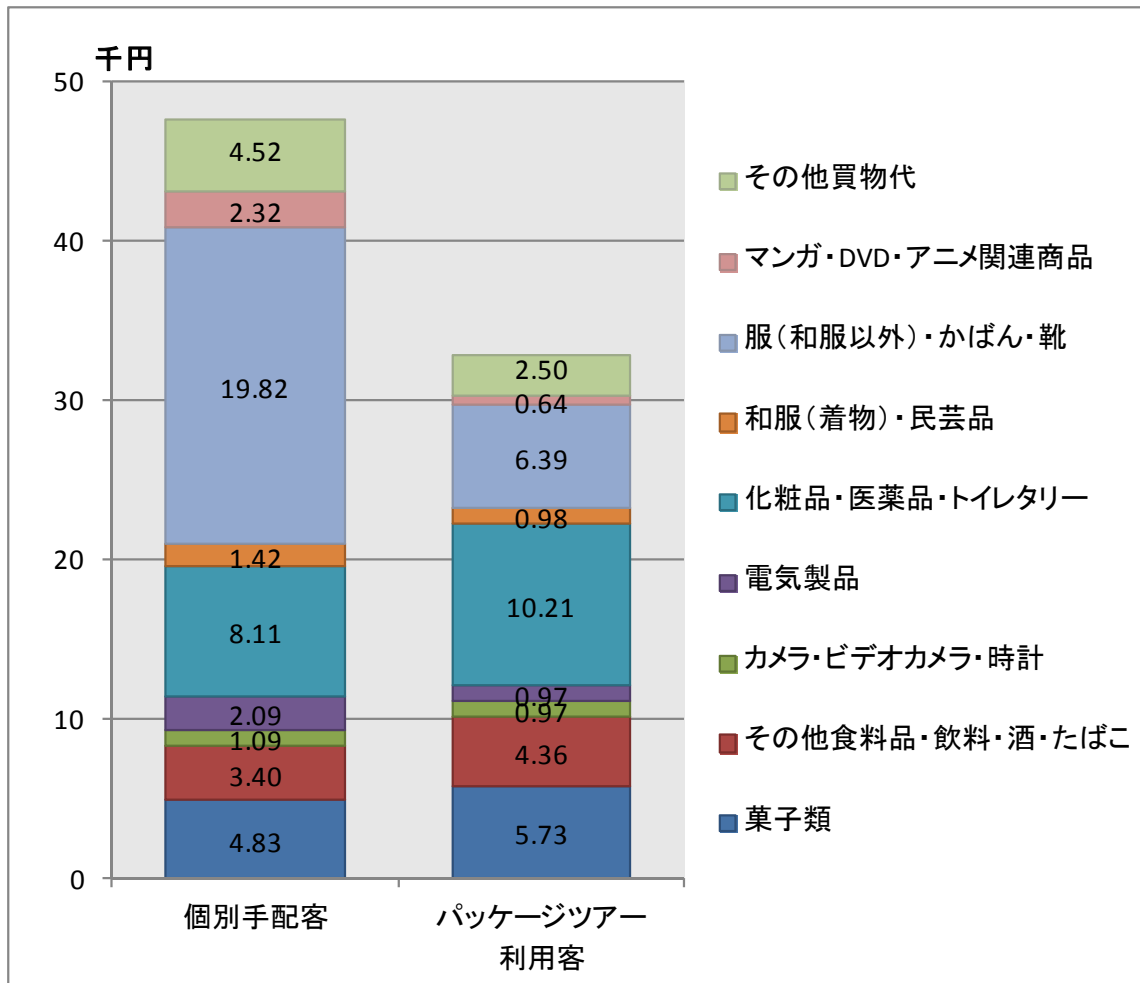


注2) 1人1泊当たり宿泊料金は、個別手配かつ宿泊料金支払いのある人を対象とした平均値。19

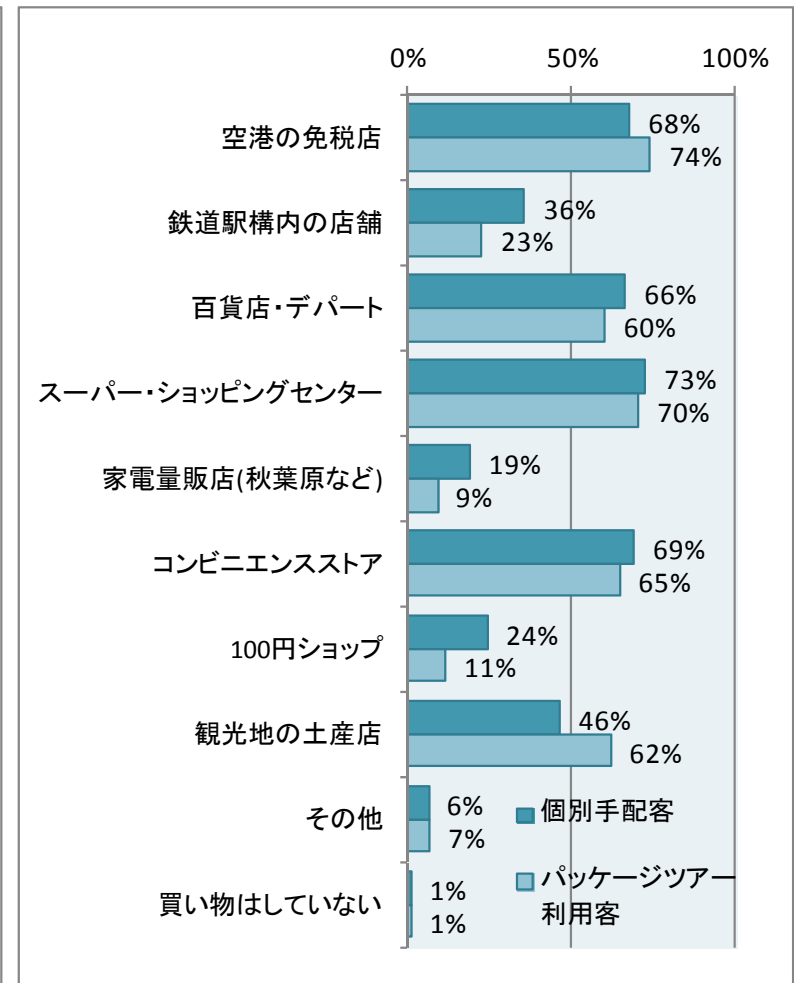
【台湾】[買物] 服・かばん・靴への支出が多く平均2万円

- ツアー客に比べて個別手配客の買物代は高い。費目別で見ると、服・かばん・靴への支出が突出して高い。
- 買物場所では個別手配客とツアー客の差異はあまり見られないが、「観光地の土産店」は個別手配客の利用が少ない。

図表3-7. 手配方法別にみる観光客1人当たり買物支出
【台湾】



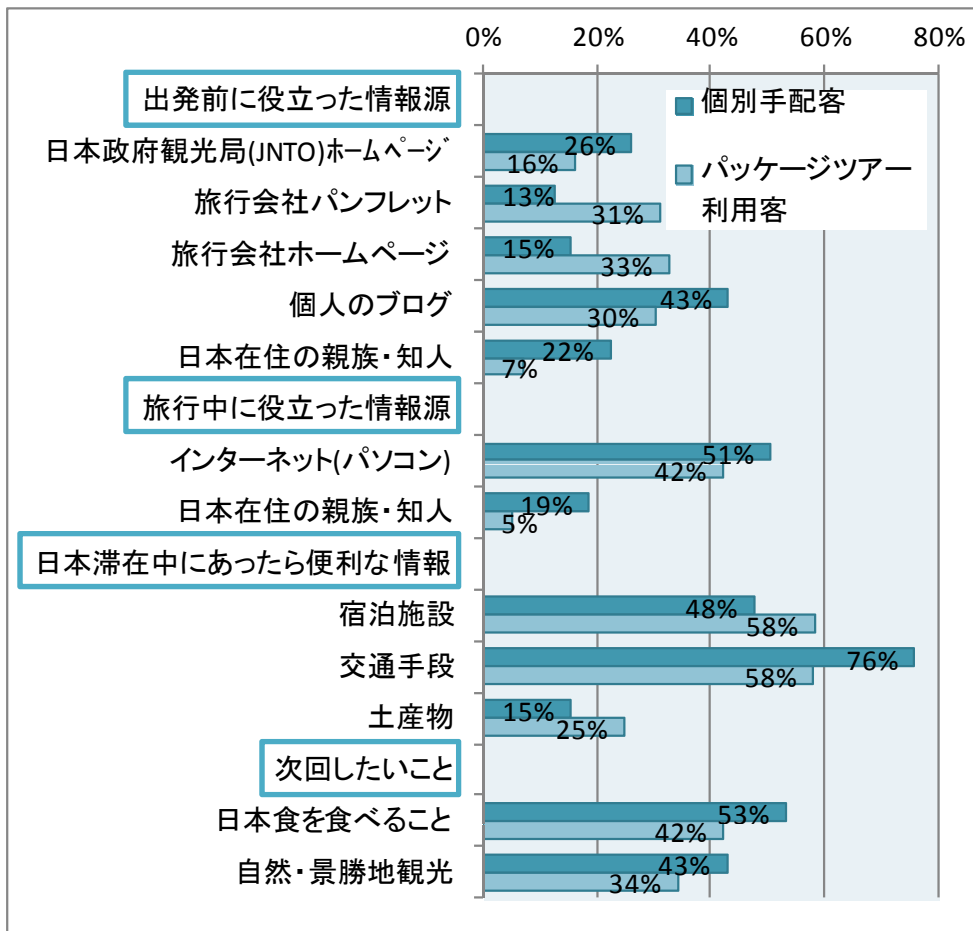
図表3-8. 手配方法別にみる観光客の
買物場所(複数回答)【台湾】



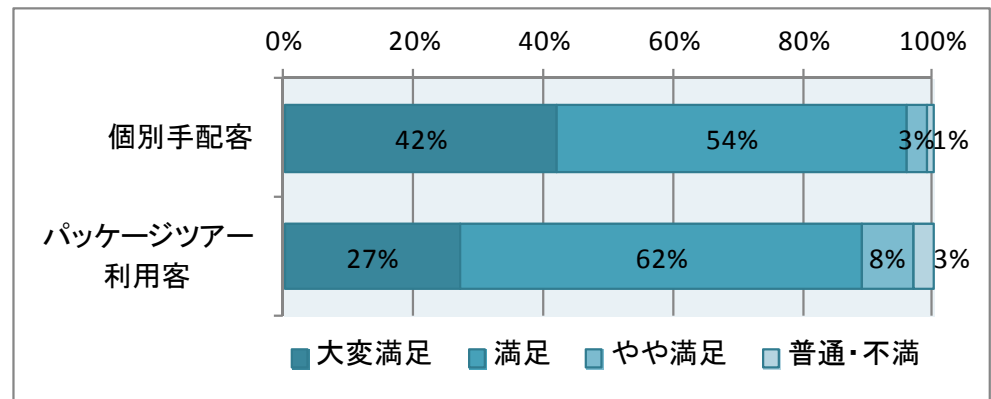
【台湾】[情報源・満足度] また日本に「必ず来たい」人が7割超 観光庁

- 個別手配客では「JNTOホームページ」「個人ブログ」「日本在住の親族・知人」から情報を得ている人がツアー客に比べ多い。
- 次回の訪日の際にしたいこととして、「日本食を食べること」や「自然・景勝地観光」を挙げる人が個人手配客には多い。
- 訪日旅行の満足度や日本への再訪意向は、ツアー客に比べて個人手配客の方が高い。

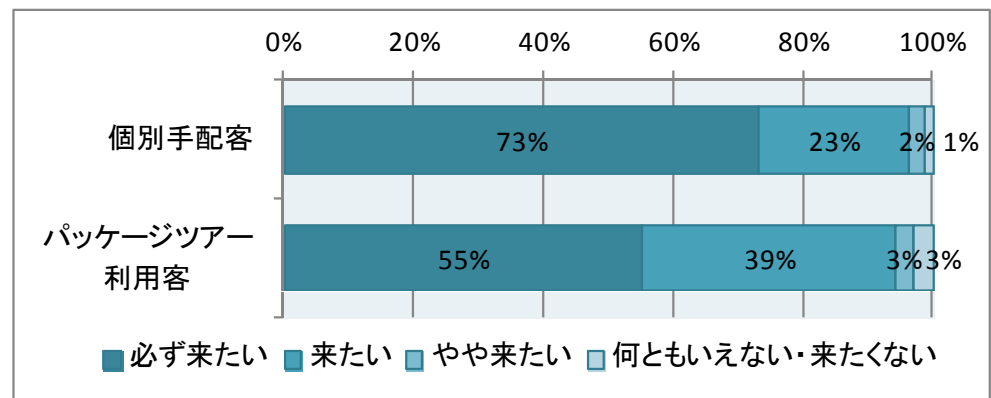
図表3-9. 手配方法別に見る観光客の情報源やニーズ 【台湾】



図表3-10. 手配方法別に見る観光客の訪日旅行満足度【台湾】



図表3-11. 手配方法別に見る観光客の日本への再訪意向【台湾】

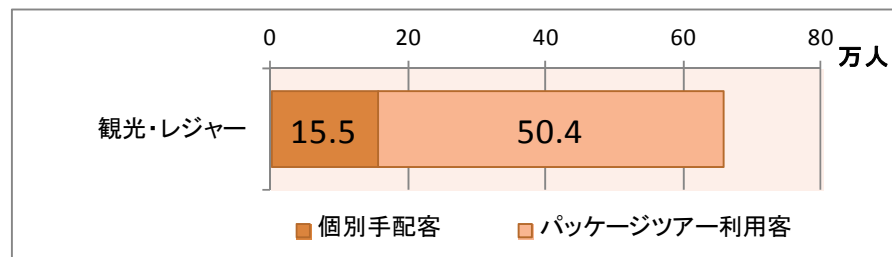


注) 図表3-9では個別手配客とパッケージツアー利用者で有意差のあった項目を表示している。

【中国】[客層] ツアー利用が主流、個別手配は若い年代が多い 国土交通省 観光庁

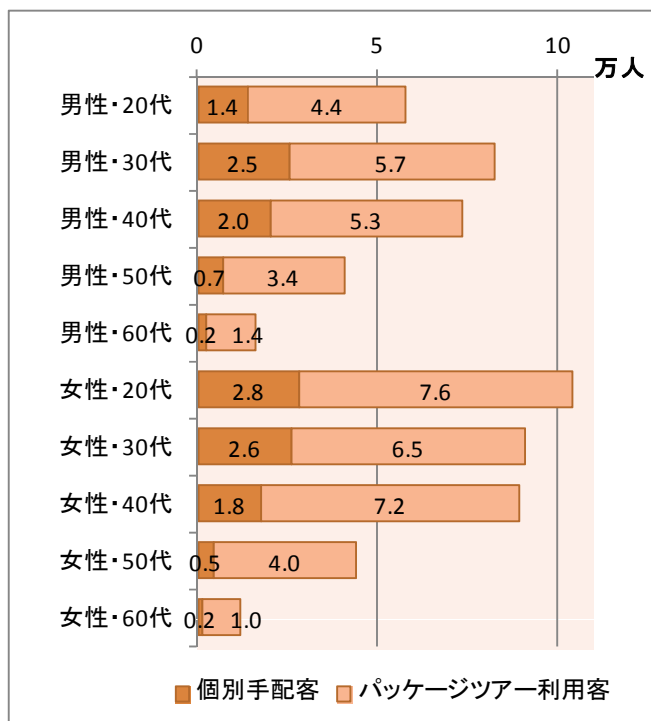
- 中国からの観光客では、個別手配が23%を占める。その人数は年間15.5万人と推計される。
- 性・年代別では、台湾同様、どの層においてもツアー客の方が人数が多いが、その中でも個別手配客の人数が多いのは男性30～40代と女性20～30代である。訪日回数別では、1回目の大半がツアー客である。同行者別では、「自分ひとり」のおよそ半数が個別手配客である。

図表4-1. 手配方法別にみる観光客数【中国】

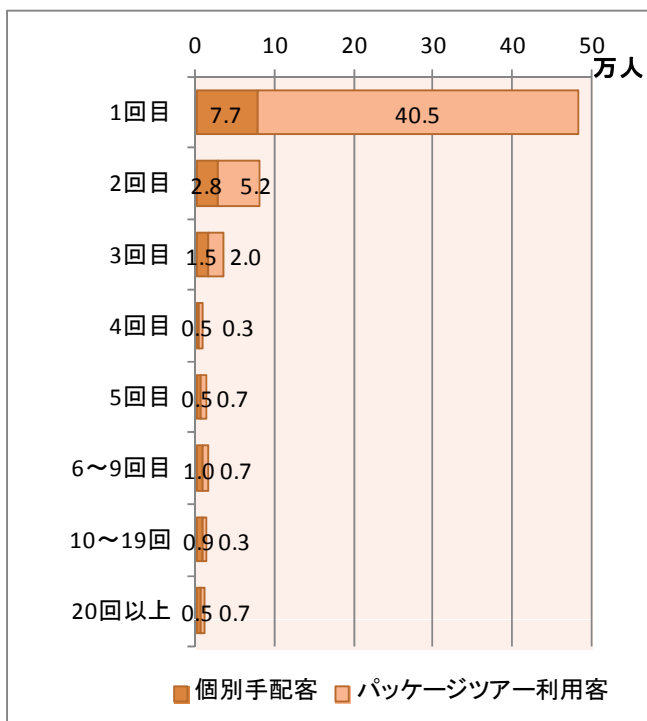


図表4-2. 客層別にみる個別手配客およびパッケージツアー利用客数【中国】

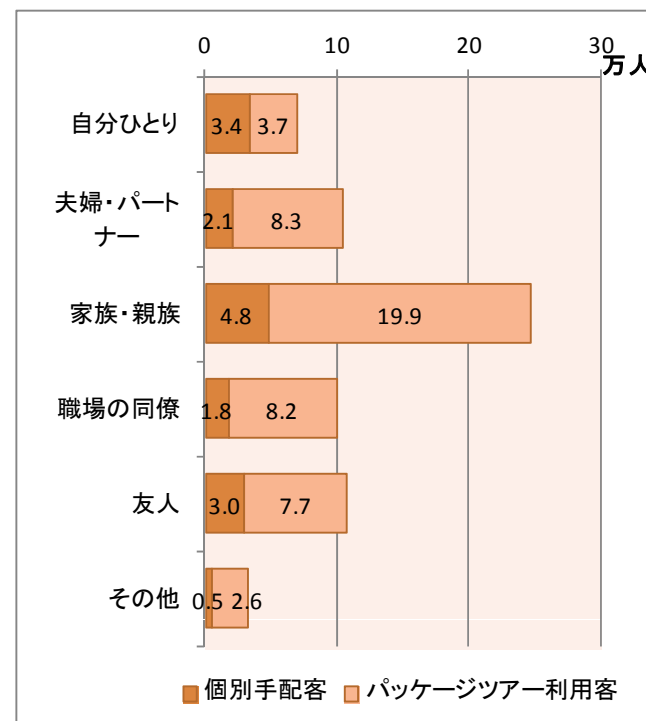
a. 性・年代



b. 訪日回数



c. 同行者



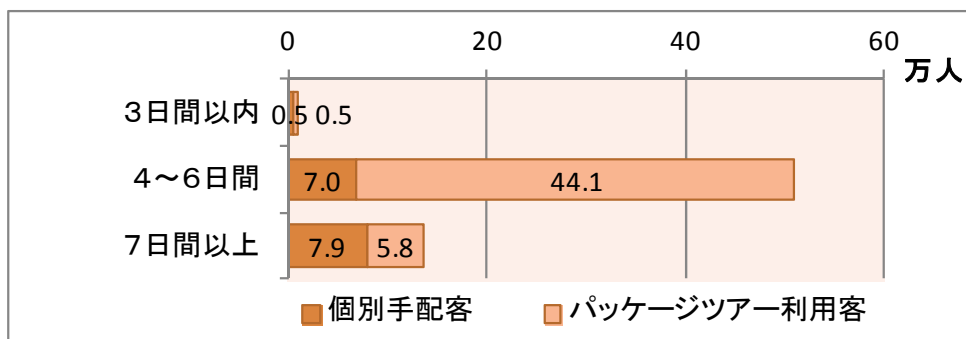
注1) 客層別の訪日外客数＝「JNTO訪日外客数」×「本調査結果における客層別構成比」(平成24年5-6月のJNTO訪日外客数は推計値を使用)

【中国】[旅程] 個別手配客は東京・大阪に集中、京都も多い

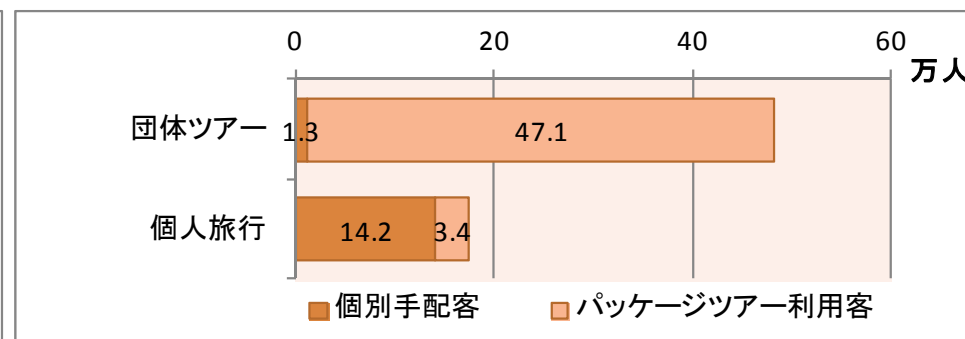
- ツアー客は「4～6日間」が大半で、「7日間以上」になると個別手配客の方が多い。
- ツアー客の訪問地は東京・神奈川・愛知・京都・大阪が多いが、個別手配客は東京・大阪に集中、京都も多い。

図表4-3. 旅程別にみる個別手配客およびパッケージツアー利用客数【中国】

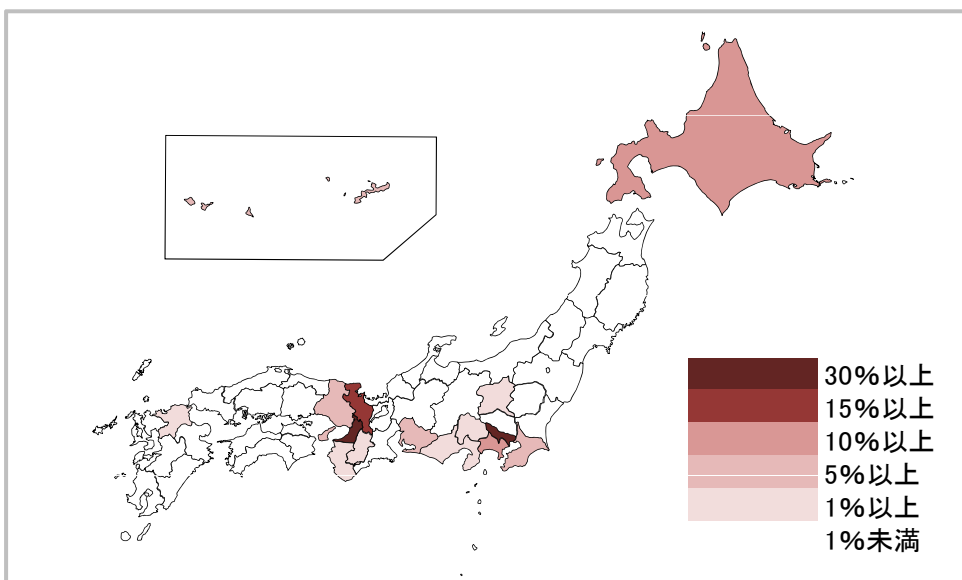
a. 滞在日数



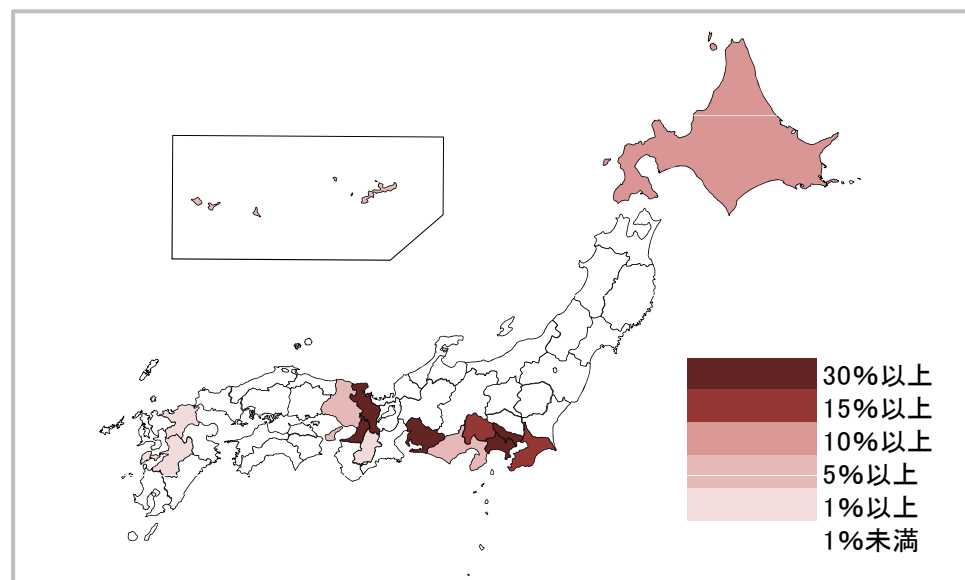
b. 旅行形態



c. 個別手配客の都道府県別訪問率



d. パッケージツアー利用客の都道府県別訪問率

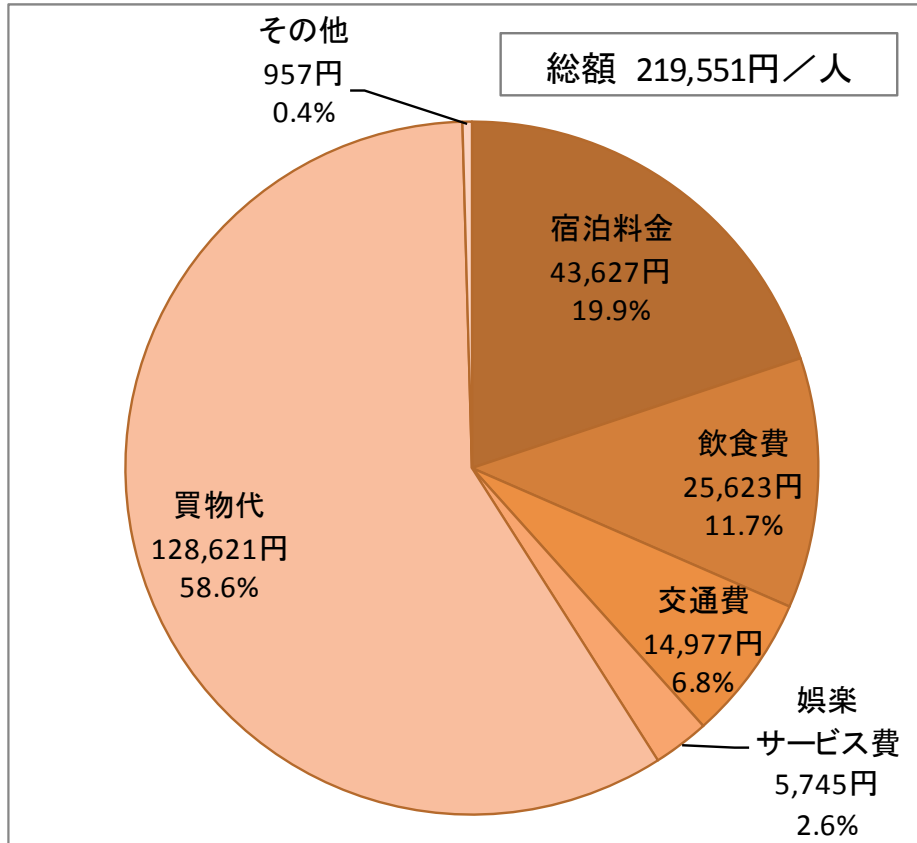


注) 客層別の訪日外客数 = 「JNTO訪日外客数」×「本調査結果における客層別構成比」 (平成24年5-6月のJNTO訪日外客数は推計値を使用)

【中国】[旅行支出] 買物代が平均13万円で過半数を占める

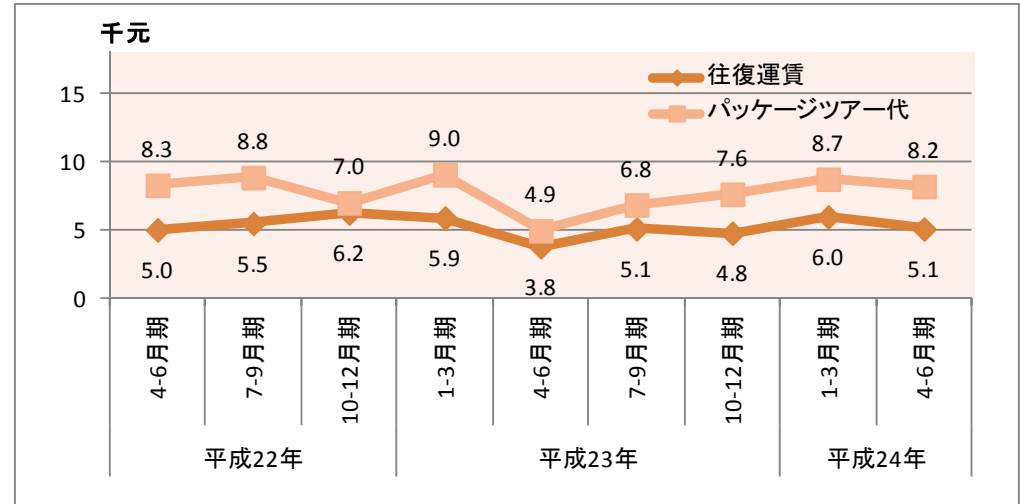
- 個別手配観光客の旅行中支出額は1人当たり平均およそ22万円。台湾の同支出額の2倍である。
- 平成24年4-6月期における個別手配観光客の往復運賃は1人当たり平均およそ5,100円であり、前々年の水準に回復している。

図表4-4. 個別手配観光客の1人当たり旅行中支出額【中国】

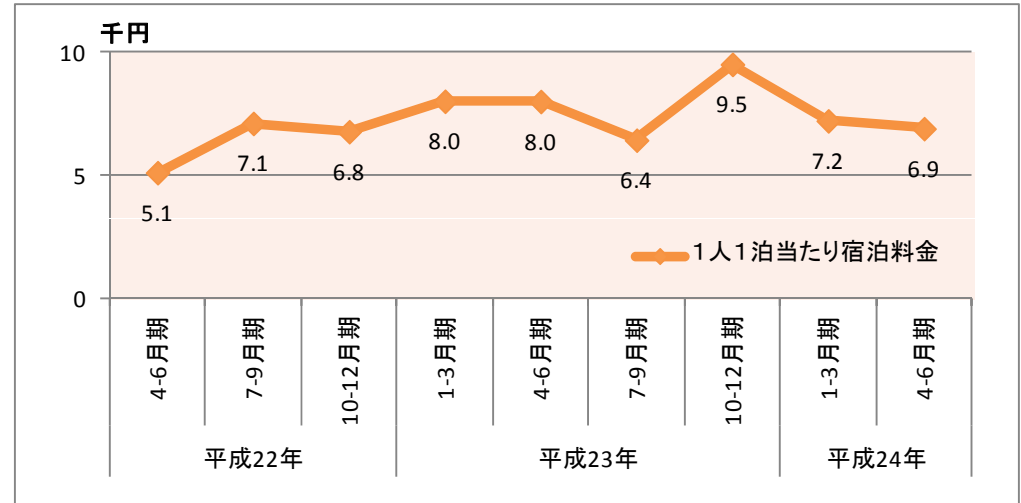


注1) 旅行中支出額の交通費には往復運賃は含まれない。

図表4-5. 観光客の1人当たり往復運賃およびパッケージツアー代【中国】



図表4-6. 観光客の1人1泊当たり宿泊料金【中国】

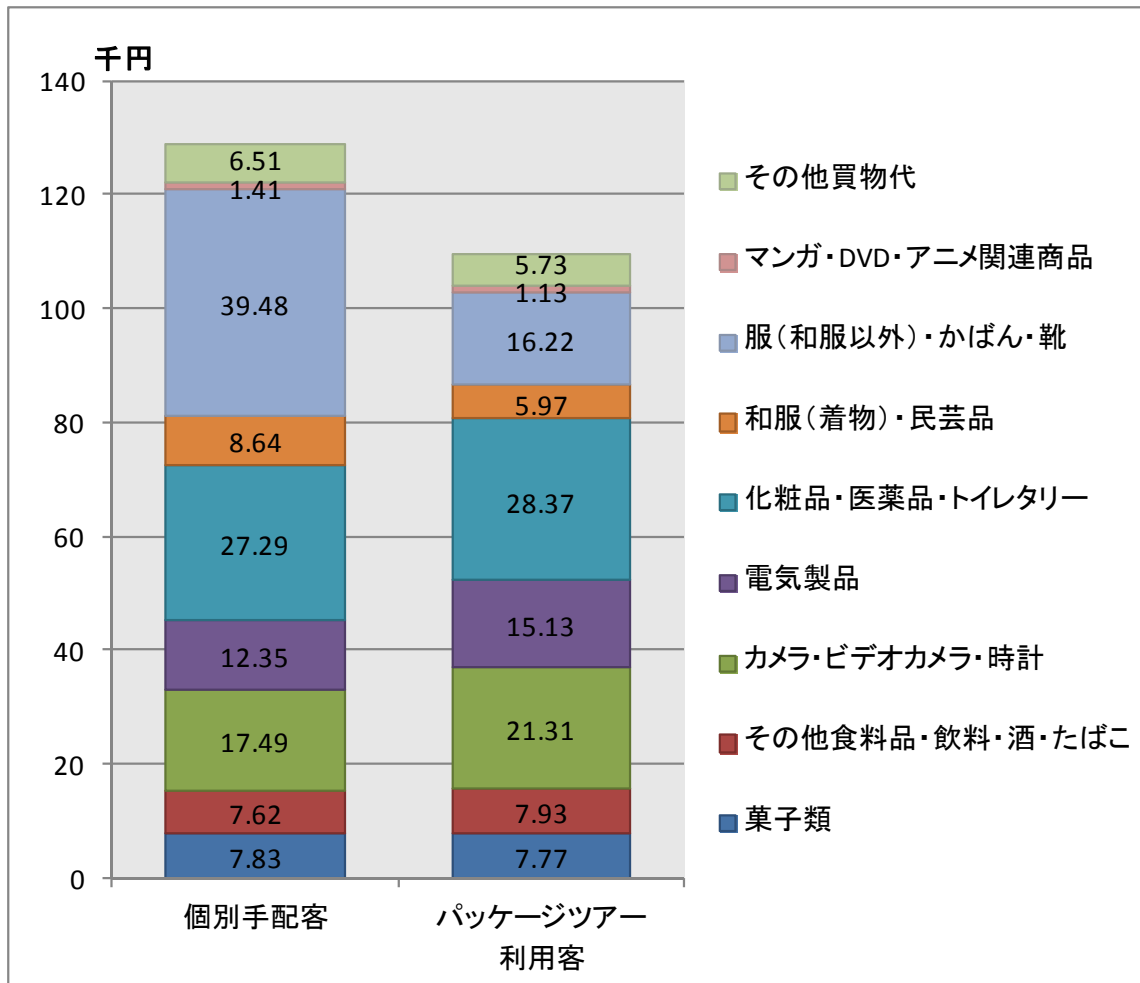


注2) 1人1泊当たり宿泊料金は、個別手配かつ宿泊料金支払いのある人を対象とした平均値。24

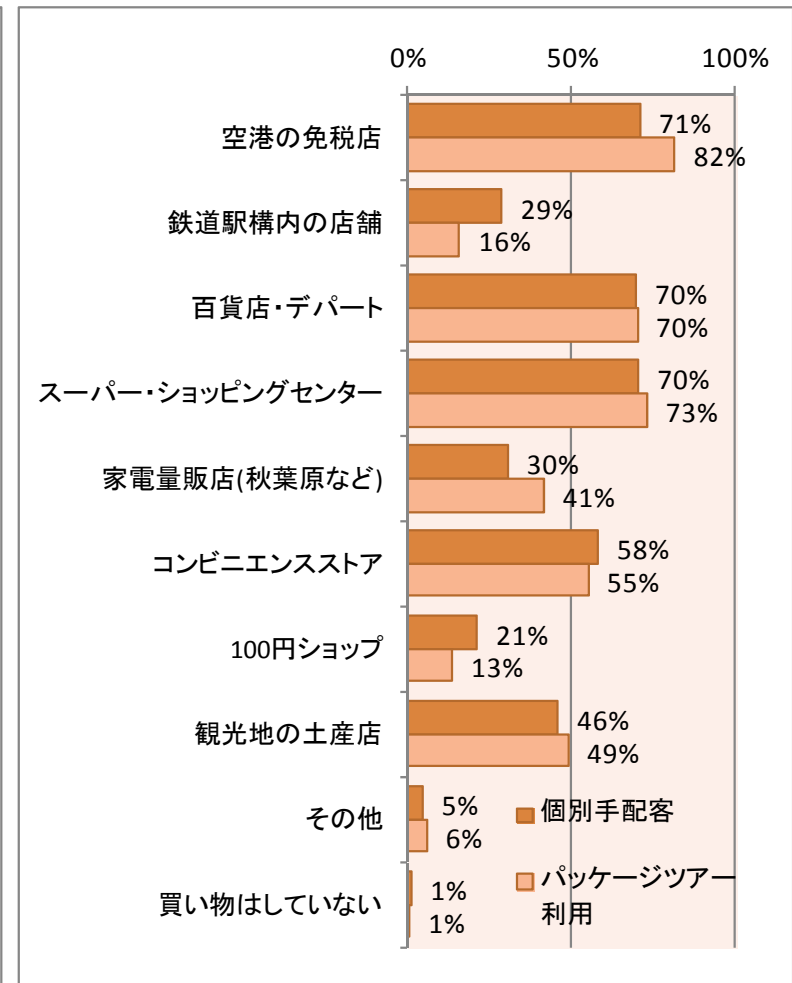
【中国】[買物] 韓国・台湾同様、服・かばん・靴の支出多い

- ツアー客に比べ個別手配客の買物代は高い。個別手配客では、韓国・台湾同様に服・かばん・靴への支出が多い。
- 個別手配客もツアー客同様に様々な場所で買物をしているが、「家電量販店」の利用率はツアー客に比べると低い。

図表4-7. 手配方法別にみる観光客1人当たり買物支出
【中国】



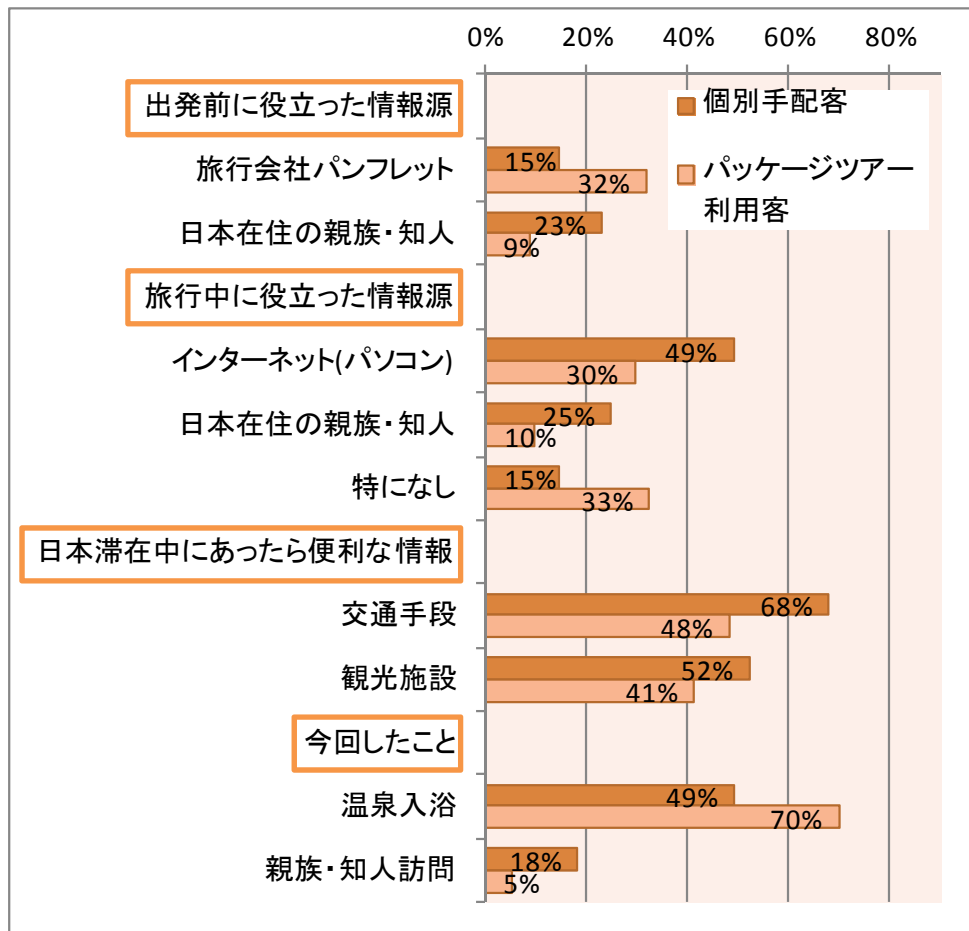
図表4-8. 手配方法別にみる観光客の買物場所(複数回答)【中国】



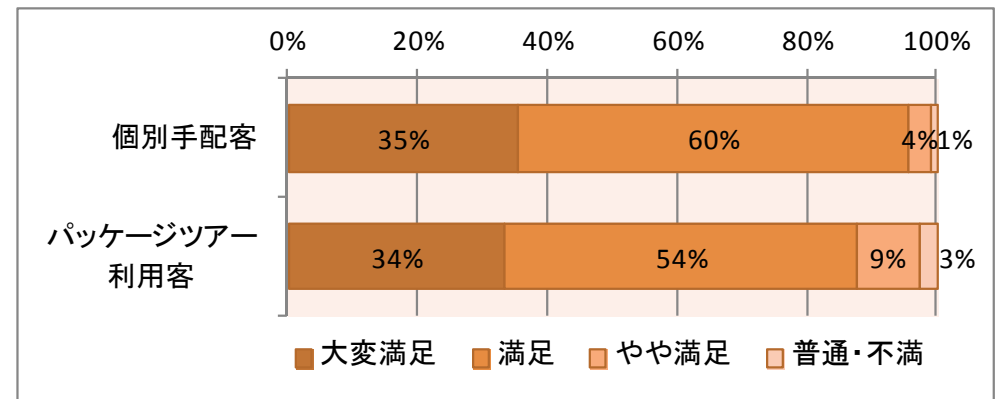
【中国】[情報源・満足度] 個別手配客の方が再訪意向高い

- 個別手配客では「日本在住の親族・知人」から情報を得る人がツアー客に比べ多く、旅行中はパソコンを使用する人も多い。
- 日本滞在中にあったら便利な情報としては、「交通手段」や「観光施設」を挙げる人がツアー客に比べ多い。
- 訪日旅行の満足度では大きな差がみられないが、日本への再訪意向はツアー客に比べて個人手配客の方が高い。

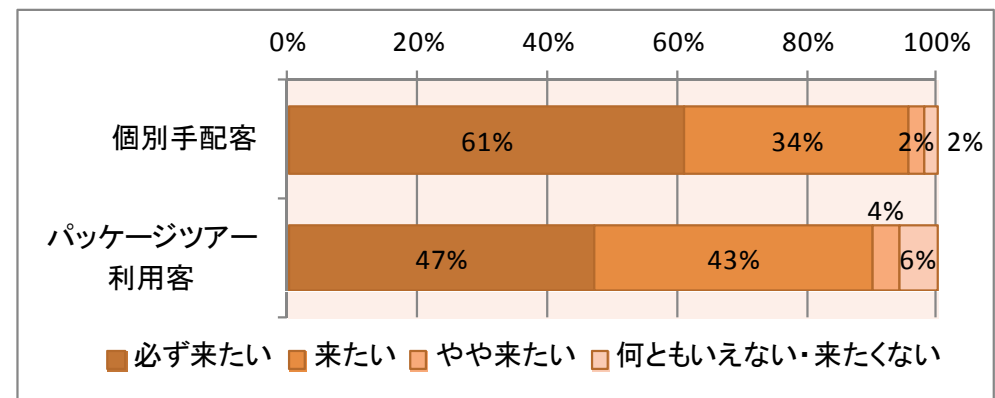
図表4-9. 手配方法別にみる観光客の情報源や活動【中国】



図表4-10. 手配方法別にみる観光客の訪日旅行満足度【中国】



図表4-11. 手配方法別にみる観光客の日本への再訪意向【中国】



注) 図表4-9では個別手配客とパッケージツアー利用者で有意差のあった項目を表示している。